

令和2年度

# 事業報告書



「マナビイ」  
生涯学習マスコットマーク

学び

出会い

よろこび

石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

## は じ め に

令和2年という年を少し振り返ってみたいと思います。私は令和2年3月末まで県立高校に勤務しておりましたが、2月27日に開催された新型コロナウイルス感染症対策本部における首相の要請を受け、石川県では県立学校が3月2日から臨時休業となりました。3月3日の卒業式は来賓の出席はなく在校生は送辞を読む1名のみ、予定していた卒業式の歌も歌わず時間を極力短縮して行いました。そして卒業式以上に神経を使ったのが学力検査でした。卒業式直後の4日、5日は国公立大学の中後期試験の指導を受ける少数の卒業生の登校は認めましたが、6日からは一切の部外者の校舎内立ち入りを禁止し、検査前日の9日に予定されていた会場の下見も中止となりました。例年以上にピリピリとした緊張感の中で検査が実施され、無事に18日の合格発表を迎えることができましたが、密を避けるため合格者の掲示はオープンスペースの中庭で行いました。振り返ると毎日が本当に祈るような気持でした。翌週の3月23日から条件付きで学校再開となりましたが、終業式や離任式は校内放送を使って行われる等、異例の年度末でした。ただ、この時点では4月からは通常に近い形で新年度が始まると思っていました。

4月1日付で当センターに赴任しましたが、予想に反して感染者数は増加の一途をたどりました。国は4月7日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態を7都府県に宣言し、石川県でも4月13日に石川県緊急事態宣言が出され、当センターも緊急事態措置として5月下旬まで休館となりました。その結果、年度当初予定されていた講座が中止・延期され、5月23日に予定されていた石川県民大学校・大学院修了証書交付式と人間国宝「木工芸」の川北良造氏の記念講演も中止を余儀なくされました。5月下旬から徐々に講座を再開しましたが、密集を避けるために講座の定員を大幅に削減して実施するという対応を取らざるを得なくなりました。すべての講座で換気のため休憩時間を設定し、大型扇風機で空気の入替えを行い、定員が比較的多い講座では検温・健康確認・消毒の際に密を避けるため受付を二カ所で行う等の対策を実施しました。窓がなく窓を開けての換気ができない「まなびすとルーム」の学習スペースについてはイベント開催制限が緩和された9月19日まで閉鎖いたしました。

このような状況下で実施された令和2年度における当センターの事業の状況をまとめたものがこの報告書です。新型コロナウイルス感染症のため例年に比べ、数字が大きく落ち込んでいるものも多くありますが、ご高覧のうえご助言ご提言をいただければ幸いです。

結びに、当センターの事業実施・運営にあたり、ご尽力いただきました関係機関並びに関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年5月

石川県立生涯学習センター  
館長 山越善耀

# 目 次

## I 生涯学習センター

1 石川県民大学校	
(1) 石川県民大学校のあゆみ	3
(2) 石川県民大学校の入学状況	4
(3) 石川県民大学校の推移	5
2 講座事業	
(1) 石川県民大学校・大学院修了証書交付式、記念講演会	7
(2) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	8
(3) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	10
(4) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座 ①金沢会場	11
〃 ②能登会場・③加賀会場	12
(5) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座	13
(6) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座 ①小・中学校	14
〃 ②公民館	15
(7) ふるさとモット学び塾 子どもふるさと博士講座	16
(8) あすなる悠々塾	17
(9) あすなる悠々塾講師養成研修	19
(10) 人権講演会	20
(11) 世界理解講座	21
(12) ファミリー・カレッジin本多の森	22
(13) オリンピック・パラリンピック・カレッジin本多の森	23
(14) 兼六ビデオ講座	24
(15) 本多の森シネマアーカイブ	26
(16) 本多の森映画会	27
(17) 夏の子ども映画会	28
3 学習情報・教材提供	
(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	29
(2) まなびすとルーム	30
(3) 視聴覚ライブラリー	30
(4) 生涯学習センターだより(館報)	31
(5) 県民企画展示(マナビィコーナー)	32
4 指導者養成・研修	
(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)	33
(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	34
(3) ファシリテーター養成講座	35
(4) 市町生涯学習担当者基礎研修	36
(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	37
5 マナビィフェアin本多の森2020	38
6 他の機関・団体との主催・共催事業	
(1) 生涯学習・社会教育担当者等研修	39
(2) 教育事務所管内別生涯学習研修会	40
(3) 県民映像カレッジ	41
(4) ICTセミナー	42
(5) いしかわ映像作品コンテスト	43
(6) 視聴覚いしかわ(会報)	44

## II 生涯学習センター能登分室

1 講座事業	
(1) ふるさとふれあい能登校講座	45
(2) 能登文化講座	45
(3) 能登の歴史探訪講座	46
(4) 古文書解読講座	46
(5) 能登陶芸教室	47
(6) あすなる悠々塾in能登	47
(7) 能登特別映画会	48
(8) ふるさと文化探究講座	48
(9) 輪島塗沈金教室	49
(10) 夏休み子どもわくわく科学教室	49
(11) 夏休み子ども特別映画会	50
(12) 夏休み子ども草木染め教室	50
2 他の機関・団体との共催講座	
(1) フランス料理教室	51
(2) 大人の料理教室	51
(3) サンドブラスト体験教室	52
3 能登分室利用状況	53

III 調査研究レポート	54
--------------	----

# I 生涯学習センター

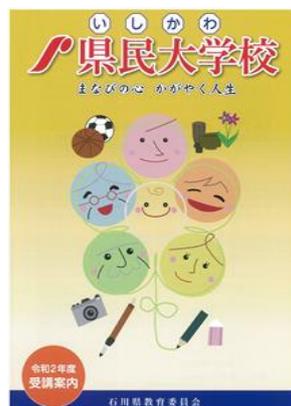
## 1 石川県民大学校

### (1) 石川県民大学校のあゆみ

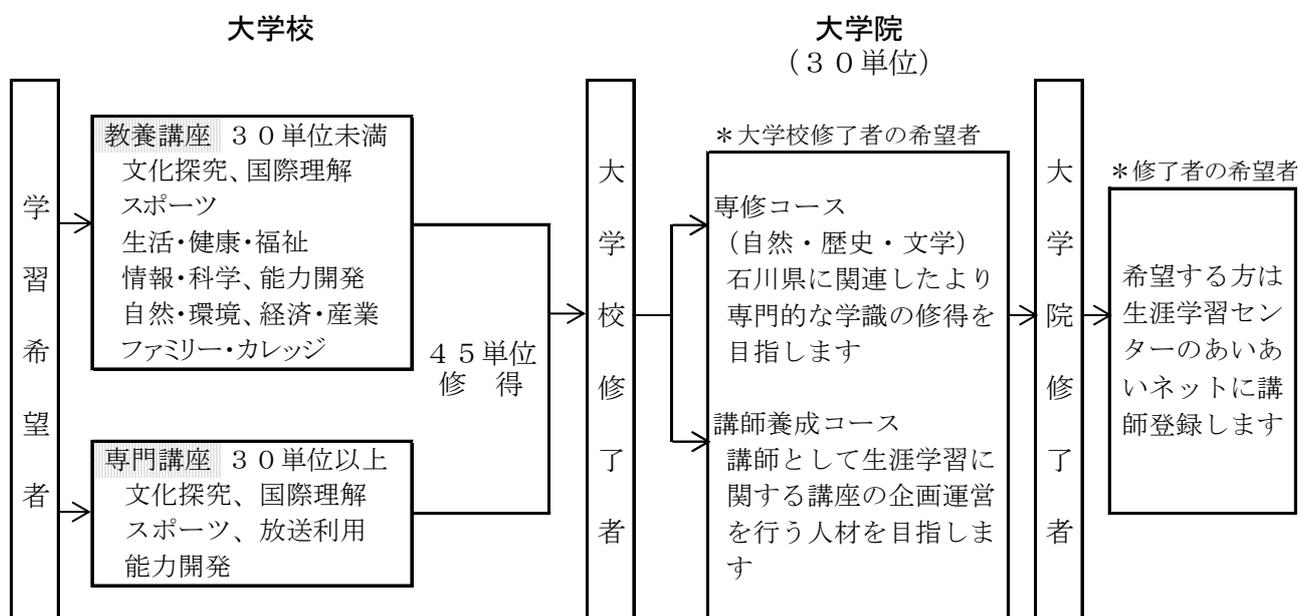
石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

#### ○講座数の推移

年度	講座数 ( )内専門・大学院講座数	年度	講座数 ( )内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成23年	1,021 (34・4)
平成 3年	274 (78)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 4年	290 (89)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 5年	313 (98)	平成26年	1,132 (29・4)
平成 6年	321 (103)	平成27年	1,186 (28・4)
平成 7年	331 (111)	平成28年	1,212 (30・4)
平成 8年	325 (107)	平成29年	1,178 (32・4)
平成 9年	332 (117)	平成30年	1,206 (32・4)
平成10年	330 (126)	令和 元年	1,232 (32・4)
平成11年	485 (121・4)	令和 2年	802 (22・4)
平成12年	498 (130・4)		
平成13年	504 (114・4)		
平成14年	582 (114・4)		
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 ( 88・4)		
平成17年	815 ( 54・4)		
平成18年	856 ( 46・4)		
平成19年	904 ( 45・4)		
平成20年	897 ( 39・4)		
平成21年	938 ( 40・4)		
平成22年	944 ( 37・4)		



#### ○石川県民大学校入学から修了までの流れ



(2)石川県民大学校の入校状況(令和2年度)

表1 講座のコース別開設数及び入校者数

講座	コース名	講座数	入校者数
教養講座 専門講座		776	5,151
		22	462
大学院	専修自然・歴史・文学	3	30
	講師養成	1	6
合計		802	5,649

表2 地区別入校者割合(%)

地区名	入校者割合
加賀市	0.7%
小松市・能美市・能美郡	5.8%
白山市・野々市市	15.3%
金沢市	55.6%
かほく市・河北郡	4.0%
羽咋市・羽咋郡	2.9%
七尾市・鹿島郡	2.9%
輪島市・鳳珠郡	5.3%
珠洲市	0.7%
不明・県外	6.8%
合計	100%

表3 年代別入校者割合(%)

年齢	割合
19歳以下	15.1%
20歳～29歳	0.9%
30歳～39歳	3.1%
40歳～49歳	9.3%
50歳～59歳	5.7%
60歳～69歳	14.4%
70歳～79歳	22.6%
80歳以上	6.3%
不明	22.6%
合計	100%

(3) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
大 学 校	教 養 講 座 計	1,099	1,154	1,178	1,142	1,170	1,196	776
	専 門 講 座 計	29	28	30	32	32	32	22
	文化探究コース	6	7	7	9	9	9	6
	国際理解コース	12	12	12	12	12	12	8
	スポーツ・生活コース	4	4	5	5	5	5	5
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0
	能力開発コース	4	2	3	3	3	3	0
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
大 学 校 計		1,128	1,182	1,208	1,174	1,202	1,228	798
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		1,132	1,186	1,212	1,178	1,206	1,232	802

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	講座数							
国 立 機 関	機 関 数	2	2	2	2	3	3	3
	講 座 数	35	43	40	35	44	59	20
県 機 関 計	機 関 数	64	46	43	41	41	39	41
	講 座 数	444	409	416	454	499	483	361
知事部局等	機 関 数	30	22	21	23	24	23	25
	講 座 数	206	181	182	220	256	219	135
県立学校	機 関 数	22	12	10	7	6	5	5
	講 座 数	26	13	11	8	6	6	3
県 教 委	機 関 数	12	12	12	11	11	11	11
	講 座 数	212	215	223	226	237	258	223
市町村教委	機 関 数	65	41	41	32	31	34	35
	講 座 数	274	151	165	116	103	130	94
各 種 法 人	機 関 数	44	53	53	51	49	50	52
	講 座 数	260	476	478	466	453	454	295
各 種 団 体	機 関 数	18	17	17	14	14	13	14
	講 座 数	119	107	113	107	107	106	32
合 計	機 関 数	193	159	156	140	138	139	145
	講 座 数	1,132	1,186	1,212	1,178	1,206	1,232	802

表3 入校者数の推移

(単位：人)

年 度		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
大 学 校	教養講座 計	8,700	8,774	9,893	10,341	10,355	10,793	5,151	145,486
	専門講座 計	462	545	611	605	575	628	462	45,419
	文化探究コース	111	239	230	266	284	312	220	13,719
	国際理解コース	133	146	135	136	134	147	116	9,417
	スポーツ・生活コース	9	0	20	15	0	15	15	8,197
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	4,482
	能力開発コース	202	146	205	188	157	142	106	8,095
	放送利用コース	7	14	21	0	0	12	5	1,509
大 学 校 計		9,162	9,319	10,504	10,946	10,930	11,421	5,613	190,905
大 学 院	専修コース	37	44	32	31	14	21	30	1,778
	講師養成コース	6	4	9	7	6	7	6	414
石川の博士養成講座 計		43	48	41	38	20	28	36	2,192
合 計		9,205	9,367	10,545	10,984	10,950	11,449	5,649	193,097

※大大学の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計

表4 修了者数の推移

(令和3年3月末現在)

(単位：人)

年 度		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
大 学 校	教養講座 計	308	232	261	186	293	291	165	4,437
	専門講座 計	226	403	429	565	496	482	267	14,455
	(コース重複)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(593)
	文化探究コース	111	187	184	266	239	242	72	5,544
	国際理解コース	71	88	83	113	83	83	73	2,476
	スポーツ・生活コース	9	0	20	15	0	15	15	1,846
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	641
	能力開発コース	35	128	140	171	174	142	106	4,492
放送利用コース	0	0	2	0	0	0	1	48	
大 学 校 計		534	635	690	751	789	773	432	18,892
大 学 院	専修コース	23	19	21	12	12	13	10	569
	講師養成コース	3	2	6	5	5	5	4	186
石川の博士養成講座 計		26	21	27	17	17	18	14	755
合 計		560	656	717	768	806	791	446	19,647

※大大学の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計

表5 年代別修了生数(令和2年度修了生の内訳)

(単位：人)

年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大 学 校	16	0	1	7	25	98	170	59	56	432
大 学 院	0	0	0	1	2	2	7	2	0	14
人数(人)計	16	0	1	8	27	100	177	61	56	446
割合(%)	3.6	0.0	0.2	1.8	6.1	22.4	39.7	13.7	12.5	100

## 2 講座事業

### (1) 令和元年度修了証書交付式、記念講演会

#### 趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。

#### 対象・参加者

令和元年度県民大学校・大学院修了生、一般及び講座実施機関の代表者等

#### 会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

#### 期 日

令和2年5月23日（土） ※ 新型コロナウイルス感染拡大のため中止

#### 日 程

修了証書交付式
記念講演「木と生きる」 講師 挽物木工芸家、重要無形文化財保持者(人間国宝) 川北 良造

#### 事業の評価(成果・課題)

新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となった。修了生全員(791名)に修了証書を郵送した。

(2)石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営できる人材を養成する。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

令和2年5月23日(土)～令和3年1月16日(土)

会 場

石川県立生涯学習センター会議室

定 員

専 修コース 60名(自然・歴史・文学の3講座あわせて)  
講師養成コース 15名

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	5月23日(土) 14:10～15:20	石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演 「木と生きる」	挽物木工芸家重要無形文化財保持者 川北 良造	中止
2	7月 8日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「プレゼンテーションの基本」	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	6人
3	7月15日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「チラシの魅せ方」	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	6人
4	7月22日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「スピーチプレゼンテーションの技法」	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	6人
5	7月28日(火) 13:30～15:30	講師養成コース 「シンプルで伝わりやすいプレゼン資料の作り方」	あぼじら代表 伊藤 雅恵	5人
6	8月28日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「用水が育む動物そして人」	石川県立大学客員教授 上田 哲行	5人
7	9月 3日(木) 13:30～15:30	専修コース自然 「流転する県内の植物数が明らかになりました!!～その調査法・種の同定・学名の確定を通して」	NPO法人石川県自然史センター理事長 高木 政喜	3人
8	9月 7日(月) 13:30～15:30	専修コース文学 「『縷紅新草』～三島の夢見た宝石～」	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	6人
9	9月 8日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「えんじよもの文学 森崎和江～朝鮮半島、筑豊炭鉱、そして能登～」	金沢大学准教授 飯島 洋	2人
10	9月14日(月) 13:30～15:30	専修コース歴史 「12代加賀藩主前田斉広(なりなが)と前田土佐守家」	前田土佐守家資料館学芸員 竹松 幸香	18人
11	9月16日(水) 13:30～15:30	専修コース自然 石川県立自然史資料館での学習	石川県立自然史資料館館長 中村 浩二	1人
12	9月17日(木) 13:30～15:30	専修コース歴史 「前田利常と後水尾天皇(上皇)～「忍」の扁額について～」	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	19人
13	9月23日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史・文学 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館司書主任 阿部 豪 他	8人
14	9月28日(月) 13:30～15:30	専修コース自然・歴史・文学 「論文作成講座」	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	13人
15	10月 8日(木) 13:30～15:30	専修コース自然 「金沢の街の成り立ちと自然災害～高低差からみる街の物語～」	金沢大学准教授 青木 賢人	5人

番号	日時	内容(演題)	講師	参加者数
16	10月9日(金) 13:30～15:30	専修コース文学 「三島由紀夫『美しい星』の金沢・内灘」	金沢大学教授 杉山 欣也	6人
17	10月14日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「823年・加賀立国時の国府を探る」	金沢学院大学名誉教授 小嶋 芳孝	20人
18	10月21日(水) 14:00～15:40	講師養成コース 講座企画書指導	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	5人
19	11月10日(火) 13:30～14:00	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	1人
20	11月13日(金) 10:30～11:30	専修コース歴史 試論指導	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	2人
21	11月13日(金) 13:30～14:00	専修コース自然 試論指導	NPO法人石川県自然史センター理事長 高木 政喜	1人
22	11月16日(月) 13:30～14:00	専修コース歴史 論文指導	石川県立歴史博物館学芸主幹 北 春千代	1人
23	11月16日(月) 16:00～16:30	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 飯島 洋	1人
24	11月18日(水) 14:00～16:00	講師養成コース 企画講座発表	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	3人
25	11月20日(金) 13:30～14:00	専修コース文学 試論指導	金沢大学教授 杉山 欣也	1人
26	11月24日(火) 11:00～11:30	専修コース歴史 論文指導	金沢星稜大学教授 本康 宏史	1人
27	11月24日(火) 14:00～15:00	専修コース歴史 試論指導	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	2人
28	12月9日(水) 11:30～12:00	専修コース歴史 論文指導	金沢星稜大学教授 本康 宏史	1人
29	12月14日(月) 16:00～16:30	専修コース文学 試論指導	金沢大学准教授 飯島 洋	1人
30	12月15日(火) 13:30～14:00	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	1人
31	12月16日(水) 13:30～14:00	専修コース自然 試論指導	NPO法人石川県自然史センター理事長 高木 政喜	1人
32	12月18日(金) 10:00～11:00	専修コース歴史 試論指導	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	2人
33	12月18日(金) 14:00～14:30	専修コース文学 試論指導	金沢大学教授 杉山 欣也	1人
34	12月21日(月) 11:00～11:30	専修コース歴史 論文指導	石川県立歴史博物館学芸主幹 北 春千代	1人
35	12月23日(水) 13:30～14:30	専修コース歴史 試論指導	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	2人
36	1月16日(土) 13:30～15:50	「石川の博士」養成講座 論文発表会 記念講演「明治維新のイメージと加賀藩」	金沢市立玉川図書館近世史料館学芸員 宮下 和幸	34人
合 計				191人

※1、6～10、12、15～17及び35の講座については、一般の方に開放している講座

### 事業の評価(成果・課題)

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により専修コースの基本講座(開放講座)の開始を6月から8月末以降に延期した。短期間で論文をまとめる状況となったが、講師による懇切・丁寧な指導により、修了生のべ14名の研究成果をまとめた「石川の博士論文集」を発行できた。

課題として、専修コースでは途中で受講を諦める方が多かった。要因として、論文作成という趣旨を理解せずに申し込んでいることが考えられる。また、パソコン操作に不安があり、論文やプレゼンテーション資料を作成できない受講生も増えてきている。対策として、受講者説明会で十分な説明を行い、パソコン操作が苦手な方には基本講座終了後に簡単な操作を教えるなど受講生へのサポートを図っていきたい。

### (3) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

#### 趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演を通して県民大学校の大学院の一層の充実を図る。

#### 日 時

令和3年1月16日（土） 13:30～15:50

#### 会 場

石川県立生涯学習センター第3会議室

#### 対象・参加者

令和2年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 34名（定員50名）

#### 日 程

13:30～14:30	論文発表  〈専修コース〉 ①「能登末森合戦前夜の前田氏の領国統治」 歴史分野代表 砂田 武嗣  ②「西田幾多郎と鈴木大拙と夏目漱石（4） ～芥川の『鼻』『蜘蛛の糸』をめぐって～」 文学分野代表 本吉 哲夫  〈講師養成コース〉 ①「大人のたしなみについて～今さら聞けないマナー編～」 代表 栗原 みゆき
14:50～15:50	記念講演 「明治維新のイメージと加賀藩」  金沢市立玉川図書館近世史料館 学芸員 宮下 和幸

#### 事業の評価(成果・課題)

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、専修コースの開始が8月末に延期されるなど変更点が多かったにもかかわらず、大学院受講者14名から選ばれた代表3名の発表は、内容・話し方・資料提示などがよくまとまっており、参加者の感想は好評であった。

記念講演では、金沢市立玉川図書館近世史料館学芸員宮下和幸氏が、「幕府」や「藩」などの言葉は当時使われていなかったことや、錦絵に描かれた梅鉢の図柄に着目して明治維新时期に加賀藩のイメージがつくられていったことなどを説明され、歴史認識を新たにすものとなった。

アンケート結果では、「興味が持てる」100%、「満足できた」96.3%と高評価で、講演会については「明治維新の捉え方が変わった」「新鮮な切り口、歴史観だった」「幕末の話は興味深かった」という感想が多数あった。

課題として、一般参加者が少ないこと、記念講演のテーマが文学・歴史に偏ってきていることなどが挙げられる。

(4) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座

趣 旨

子供から大人まで県民一人一人がふるさとへの愛着と誇りを持ち、石川の文化や歴史、自然、産業等について知識を深めることができるよう、金沢・能登・加賀を会場としてふるさと学習の機会を提供する。

対 象

一般

日 程

① 金沢会場(石川県立生涯学習センター第1会議室)

番号	日 時	演 題	講 師	定員	参加人数
1	6月20日(土) 13:30～15:00	加賀屋の心 ～笑顔で気働き～	和倉温泉加賀屋 女将 小田 真弓	—	中止
2	6月27日(土) 13:30～15:00	賤ヶ岳の合戦と加賀・能登	かほく市文化財保護審議会 委員 瀬戸 薫	50 人	51 人
3	7月18日(土) 13:30～15:00	歴史を繋ぐ ～加賀獅子頭を通して～	知田工房 獅子頭職人 知田 善博	50 人	40 人
4	7月27日(月) 13:30～15:00	高山右近とその時代	県立美術館 県文化財保存修復工房 担当課長 村瀬 博春	50 人	43 人
5	8月29日(土) 13:30～15:00	珠洲で生きる ～炭やきによる持続可能な集落 形成を目指して～	大野製炭工場代表 大野 長一郎	50 人	33 人
6	10月1日(木) 13:30～15:00	金沢素囃子の魅力 ～伝統の継承～	県邦楽舞踊協会常任理事 杵屋 喜三以満 県邦楽舞踊協会理事 望月 太満衛	100 人	71 人
7	10月13日(火) 13:30～15:00	輪島の海女漁	輪島の海女漁保存振興会 会長 池澄 幸代 他	—	中止
8	10月24日(土) 13:30～15:00	一家で守る伝統 ～揚げ浜式製塩～	揚げ浜塩田 角花家 浜士 角花 洋	—	中止
9	11月2日(月) 13:30～15:00	あめ一筋 ～ふるさとの味～	株式会社俵屋 代表取締役会長 俵 秀昭	100 人	63 人
10	11月14日(土) 13:30～15:00	石川の食文化 ～加賀野菜と能登野菜～	北形青果株式会社 取締役・ 近江町本店店長 北形 謙太郎	100 人	61 人
合 計				500 人	362 人

## ② 能登会場

番号	日時	会場	演題	講師	定員	参加人数
1	7月11日(土) 13:30~15:00	七尾 サンライフプラザ	戦国七尾の宗教文化	七尾市文化財保護審議会委員 木越 祐馨	24人	27人
2	12月10日(木) 13:30~15:00	天日陰比咩神社	先代の意志を未来へ ~どぶろくづくりとその歴史~	天日陰比咩神社 禰宜 船木 清崇	24人	22人
合計					48人	49人

## ③ 加賀会場

番号	日時	会場	演題	講師	定員	参加人数
1	9月18日(金) 13:30~15:00	白山市鶴来 総合文化会館 クレイン	白山信仰と加賀一向一揆	金沢大学 教授 平瀬 直樹	24人	26人
2	9月26日(土) 13:30~15:00	こまつ芸術劇場 うらら	よみがえった伝統技法 ~九谷焼・赤絵細描~	九谷焼絵付師 福島 武山	24人	24人
合計					48人	50人

### 事業の評価(成果・課題)

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響の大きい年であった。県の方針に基づき、定員を大幅に減じソーシャルディスタンスを確保する等、安全のための対策をとり実施してきた。また、感染拡大の影響のため、3講座が中止となった。

金沢会場では、定員総数500名(前年度1,300名)のところ、申込総数518名(前年度1,577名)、受講者総数362名(前年度1,005名)と、大幅に減少した。しかし、出席率(受講者/申込者数)は65%であり、前年度の63.7%から微増した。年間を通しての出席率の推移をみると、申込日から講座日までの期間が短いと出席率が高い傾向がある。

能登会場・加賀会場は、定員総数96名のところ申込総数115名、受講者総数99名、出席率は86%である。今後も、開催地域の生涯学習課や関連機関との連携をするなどして広報の充実に努め、受講者数の向上につなげていきたい。

講座の内容については、様々なテーマを取り上げているが、アンケート結果を参考に、より受講者の興味・関心にそったものになるよう努めたい。今年度については、内容の理解(十分・概ね理解の合計:以下同様)97.1%、興味をもてる内容である97.6%、今後活かせる内容である82.7%、満足できた95.9%と好評で、良い成果を得ることができており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

(5) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとし、専門家とともに景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する講座を実施する。

対 象

一般

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	定員	参加人数	手段
1	9月25日(金) 8:30～15:30	令和ゆかりの大伴家持・能登巡行をたどって	金沢学院大学名誉教授 柳澤 良一	15人	13人	バス
2	9月 2日(水) 8:00～16:00	大聖寺城と城下町の魅力を訪ねて	金沢学院大学講師 戸根 比呂子	15人	13人	バス
3	9月10日(木) 8:00～16:00	白山信仰の聖地を訪ねて	小松短期大学名誉教授 由谷 裕哉	15人	15人	バス
4	10月 6日(火) 8:00～17:00	こまつ石文化の旅 ～時を超えてつながる石物語～	小松市埋蔵文化財センター専門官 樫田 誠	15人	14人	バス
5	10月23日(金) A) 9:00～11:30 B)13:30～16:00	芭蕉が訪ねた金沢 ～おくのほそ道を歩く～	芭蕉研究家 山根 公	30人	23人	徒歩
6	11月12日(木) 8:00～16:30	七尾城と能登畠山氏ゆかりの地を訪ねて	七尾城跡保存活用推進室専門員 北林 雅康	20人	16人	バス
7	11月17日(火) A) 9:30～12:10 B)13:30～16:10	金沢の文豪 徳田秋聲ゆかりの地を訪ねて	徳田秋聲記念館学芸員 藪田 由梨	30人	29人	徒歩
合 計				140人	123人	

事業の評価(成果・課題)

今年度の講座は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、初回を6月から9月に延期、2回目以降は、定員を40名から15名に削減し、バス内、見学先では三密を避ける、マスク着用、手指消毒などの感染防止対策を講じながら実施した。

応募数は、新型コロナウイルス感染拡大と定員削減の影響により351通(昨年度516通)、受講者数は、123人(昨年度247人)といずれも減少した。定員を大幅に削減したために、当選確率(定員数/応募数)は昨年度の56.2%から39.9%と減少した。また、新型コロナの感染拡大や悪天候等の影響で直前キャンセルが例年より多かった。

アンケート結果では「興味もてる内容である」の項目で「十分あてはまる」と「おおむね当てはまる」を合計した割合が98.3%、「全体として満足できた」の項目では96.7%だった。また、受講者の意見では「普段個人では行けないところで説明してもらえて良かった」「とても興味深い内容だった」「普段見ることのできない秘伝等に会えてよかった」「石川県にいながら来そびれていた場所を十分に見学することができた」などがあり、専門家とともに史跡、偉人ゆかりの地をたずね、ふるさと石川の知識を深め魅力を再発見するという講座の目的は概ね達成できた。来年度は、屋外施設を組み入れるなど、雨天にも対応できる内容を考えていきたい。

(6) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、小・中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした出前講座を実施する。

対 象

小・中学校：児童・生徒 ※小学校は、原則4年生以上  
公 民 館：一般

日 程

① 小・中学校(13校)

番号	日 時	学 校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	6月16日(火) 8:40～12:10	金沢市立 木曳野小学校(4)	銭屋五兵衛の生き方	石川県銭屋五兵衛記念館 職員 田中 重之	144 人
2	7月 9日(木) 9:00～12:00	羽咋市立 西北台小学校(5)	イカリモンハンミョウの生態と 生息域の環境	いしかわ自然学校インストラクター 西屋 馨 イカリモンハンミョウを守る会会長 架谷 成美	18 人
3	9月 7日(月) 8:40～12:10	金沢市立 木曳野小学校(4)	好きな偉人を見つけよう	金沢ふるさと偉人館 学芸員 増山 仁	144 人
4	9月 8日(火) 10:35～12:15	金沢市立 額小学校(4)	石川がほこる伝統工芸 ～金沢漆器のヒミツ～	株式会社能作 代表取締役会長 岡 能久	61 人
5	9月29日(火) 13:40～14:30	珠洲市立 緑丘中学校 (1,2,3)	研究センターの仕事と目標 達成に向けて	農業の理解促進活動のNPO法人「い しかわ農林水産サポートネット」 理事 野島 重典	181 人
6	10月23日(金) 11:00～12:00	石川県立 金沢錦丘中学校 (1)	未来につなぐ石川の技	一般財団法人浅野太鼓文化研究所 理事長 浅野 昭利 九谷焼絵付師 有生 礼子 株式会社高澤商店 代表取締役 高澤 久 株式会社丸八製茶場 代表取締役 丸谷 誠慶	123 人
7	10月27日(火) 11:15～12:15	小松市立 安宅小学校(5)	伝統工芸 九谷焼について学ぼう	九谷焼伝統工芸士 浅蔵 一華	58 人
8	11月18日(水) 9:25～11:25	金沢市立 三谷小学校(5,6)	石川の食文化	北陸学院大学短期大学部 教授 新澤 祥恵	17 人
9	12月15日(火) 10:30～12:00	羽咋市立 西北台小学校(5)	もっと知りたい！ イカリモンハンミョウのこと	いしかわ自然学校インストラクター 西屋 馨	18 人
10	1月 13日,20日,27日(水) 14:05～15:45	白山市立 北陽小学校(4)	石川の陶芸	九谷焼伝統工芸士会	100 人
11	1月19日(火) 13:20～14:55	金沢市立 栗崎小学校(4)	九谷焼の魅力について 学ぼう	九谷焼伝統工芸士 打田 幸生	57 人
12	1月18日(月) 10:40～11:25	金沢市立 伏見台小学校(4)	九谷焼ができるまで	九谷焼伝統工芸士 打田 幸生	119 人
13	2月 8日(月) 9:20～10:05	羽咋市立 西北台小学校(5)	もっと知りたい！ 絶滅危惧種 ホクリクオオサンショウウオ	イカリモンハンミョウを守る会会長 架谷 成美	17 人
合 計					1,057 人

## ② 公民館(5館)

番号	日時	公民館	演題	講師	参加人数
1	7月30日(木) 10:00～11:30	小松市立 安宅公民館	新修 小松市史に記載される 安宅のこと	加南地方史研究会 顧問 山前 圭佑	14人
2	9月17日(木) 10:00～13:00	野々市市 野々市公民館	加賀野菜を使った発酵食料理	発酵食エキスパート 1級 渡瀬 昭子	14人
3	11月12日(木) 9:00～16:00	野々市市 押野公民館	小松 石の文化を訪ねて	ほっと石川観光ボランティアガイド 辻 貴弘	17人
4	12月2日(水) 9:00～16:00	野々市市 野々市公民館	中能登の古墳と歴史を訪ねて	ほっと石川観光ボランティアガイド 辻 貴弘	17人
5	2月20日(土) 14:00～15:00	輪島市立 鳳至公民館	安政・天明期の異常気象と輪 島騒動	加能地域史研究会 左古 隆	14人
合 計					76人

### 事業の評価(成果・課題)

本講座は、学校や公民館の地域の学びのニーズに応じ、石川の文化・歴史・自然・産業等テーマに対応して専門の講師を派遣しており、今年で8年目を迎えるものである。

今年度は、新型コロナウイルスの感染症の拡大防止のために、少人数での講義を希望する施設もあり、講師陣は柔軟な対応を求められたようだが、かえって「実技や物を見る、触わる、実際にやってみる」体験型学習を効果的に行うことができ、更にごく間近で講師を目にすることで、講師の仕事への情熱や誇り、生き様等を肌と感じ、より深く理解することができる良い機会になったようである。

また、昨年度と比べて公民館の実施数が約半分に減少しているが、これは新型コロナウイルスの感染拡大のために緊急事態宣言が発出され、予定されていた行事が延期された結果、講座を開催する時間が取れなかったことによる。

それでも、実施施設でのアンケート結果では、「とても良かった」と「良かった」の合計が100%と高い評価を受けており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という目標を達成することができたと考えている。

実施施設の固定化が見られるが、特に公民館でその傾向が顕著である。どのように公民館で講座情報を効果的に提供していくかが課題であり、模索し続ける必要がある。

(7) ふるさとモット学び塾 子どもふるさと博士講座

趣 旨

子どもを対象とした石川の歴史・文化・産業等についての体験学習を通して、子どもたちのふるさとへの誇りと、郷土への愛着心を育むことを目指す。郷土を代表するテーマを設定し、複数日を設けて多角的に学習できる講座として実施する。

対 象

小学校4年生～中学校3年生

日 程

① Aコース

番号	日 時	演 題	講 師	定員	参加人数
1	7月29日(水) 13:00～16:00	金沢城ってどんなお城？ 「お城の役割と金沢城」 「金沢城公園の見どころツアー」	城と庭のボランティアガイド 高木 信吉 金沢城・兼六園管理事務所参与 浜田 哲郎	30 人	28 人
2	7月30日(木) 13:00～16:00	加賀藩主になろう 「鼠多門・玉泉院丸庭園」 「抹茶体験」 「ペーパークラフト」	金沢城・兼六園管理事務所参与 浜田 哲郎 生涯学習センター職員	30 人	28 人
3	7月31日(金) 13:00～16:30	石垣の博物館・金沢城 「石垣クイズラリー」 クイズ 「金沢城」	金沢城・兼六園研究会 越野 洋、片岸 恵治 生涯学習センター職員	30 人	28 人

② Bコース

番号	日 時	演 題	講 師	定員	参加人数
1	8月4日(火) 13:00～16:00	金沢城ってどんなお城？ 「お城の役割と金沢城」 「金沢城公園の見どころツアー」	城と庭のボランティアガイド 高木 信吉 金沢城・兼六園管理事務所参与 浜田 哲郎	30 人	29 人
2	8月5日(水) 13:00～16:00	加賀藩主になろう 「鼠多門・玉泉院丸庭園」 「抹茶体験」 「ペーパークラフト」	金沢城・兼六園管理事務所参与 浜田 哲郎 生涯学習センター職員	30 人	28 人
3	8月6日(木) 13:00～16:30	石垣の博物館・金沢城 「石垣クイズラリー」 クイズ 「金沢城」	金沢城・兼六園研究会 越野 洋、木下 一夫 生涯学習センター職員	30 人	28 人
合 計				180 人	169 人

事業の評価(成果・課題)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、募集人員を各コース50名から30名、総計60名に変更した。応募者総数は175名であり、保護者・児童生徒にとって関心の高い講座であることが伺われる。

運営にあたっては、「安全安心」確保の点から、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と熱中症予防対策に重点をおいた。講師の理解と協力を得ながら運営できたことで、講座を支障なく実施することができた。今後も安全安心に配慮した運営を行っていききたい。

講座内容については、児童生徒の実態をふまえながら、金沢城の特色に即した内容をより体験的に学べるよう進めた。受講後のアンケートでは、「内容は理解できた」96.4%、「興味が持てる内容である」89.3%、「今後に活かせる内容である」92.9%、「満足できた」92.9%という回答状況であった。また、自由記述には、「お城の役割や歴史が分かりよかった」「門の仕組みの工夫に驚いた」「石垣の種類が多くて驚いた」との感想が見られ、心に残る学びの場を提供することができたと考えられる。また、クイズ「金沢城」の到達率は85%であり、クイズ「金沢城」を「やや難しい」「難しい」とする感想が35%であった。クイズ「金沢城」の妥当性や講座内容について再検討・精選をしていく必要がある。テーマに精通している講師との打ち合わせを適切に行いながら、講座の趣旨を達成できるよう進めていきたい。

## (8)あすなろ悠々塾

### 趣 旨

一般県民の方々が生涯学習活動などを通して学んだ研究成果について、ボランティア講師として企画・発表できる機会を提供し、その知見が広く社会に活かされることを目指している。

### 対 象

一般

### 会 場

石川県立生涯学習センター教室 1

### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	5月 8日(金) 14:00～15:30	産業講座 苦節50年金沢港、その未来とは	西盛 祐吉郎	—	中止
2	5月12日(火) 14:00～15:30	歴史講座 高山右近とは	堀川 惇夫	—	中止
3	5月16日(土) 14:00～15:30	生活講座 片付け方法と片づけにまつわる建築 Vol.2	小坂 宗義	—	中止
4	5月19日(火) 14:00～15:30	健康講座 幸福寿命を延ばそう ～ねんねんころりとならないために～	木下 幸子	—	中止
5	5月21日(木) 14:00～15:30	文化講座 健康オカリナ初心者教室	上村 彰	—	中止
6	5月26日(火) 14:00～15:30	産業講座 透明な九谷焼赤絵具の開発 ～金ナノ粒子の不思議な性質～	三宅 幹夫	—	中止
7	5月30日(土) 14:30～16:00	生活講座 ワイン入門講座	木村 真樹	—	中止
8	6月 2日(火) 14:00～15:30	歴史講座 日本人は植物が好き！ ～江戸時代の植物ブームを中心に～	中田 廉子	—	中止
9	6月18日(木) 14:00～15:30	産業講座 再生可能エネルギーの現状とタンザニア市民発電所	橋本 忠	15人	11人
10	6月11日(木) 14:00～15:30	健康講座 人生100年、あなたが人生劇場の主演	岸 弘市	15人	5人
11	6月30日(火) 14:00～15:30	歴史講座 白山麓統治の歴史 ～徳川幕府による天領(幕領)支配の実態～	山口 茂樹	15人	14人
12	6月24日(水) 14:00～15:30	自然講座 ランの不思議	日尾 章	15人	10人
13	7月 2日(木) 14:00～15:30	歴史講座 白山を開かれた泰澄大師 ～史的に捉えた泰澄大師と口述者浄蔵貴所～	西村 祐三	—	中止
14	7月10日(金) 14:00～15:30	健康講座 認知症の人とのコミュニケーション ～正しく理解して安心感のあるかかわりを～	中田 有博	15人	8人
15	7月14日(火) 14:00～15:30	心理講座 自分をよりよく知って、人と上手く付き合おう！	塚本 茂樹	15人	10人
16	7月21日(火) 14:00～15:30	歴史講座 1964年東京オリンピック成功を支えた大島鎌吉の偉業	野村 泰裕	15人	11人

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
17	8月 7日(金) 14:00～15:30	産業講座 金沢港、その機能と役割～その現状と展望～	末村 春男	—	中止
18	8月26日(水) 14:00～15:30	歴史講座 はじめての「古文書」講座 ～加賀百万石を支えた人たちの思いを感じよう～	鳥居 勝治	—	中止
19	8月31日(月) 14:00～15:30	歴史講座 「明智軍記」と明智光秀の謎多き生涯	後藤 朗	20人	18人
20	9月 8日(火) 14:00～15:30	生活講座 「点字と朗読」ボランティアから学んだこと	三隅 美和子	20人	4人
21	9月11日(金) 14:00～15:30	生活講座 終活で知っておきたい整理収納のコツ	田中 由美子	20人	16人
22	9月17日(木) 14:00～15:30	健康講座 傘寿さんさん(6)	西本 宗之助	20人	12人
23	9月24日(木) 14:00～15:30	生活講座 神社って何？金沢市内神社・狛犬巡り Vr.2.0	植茶 泰男	—	中止
24	9月30日(水) 14:00～15:30	生活講座 色彩とコミュニケーションの相乗効果でいきいきと！	渋谷 夏代	—	中止
25	10月 7日(水) 14:00～15:30	生活講座 遺言、相続(民法改正)、成年後見制度の活用 ～生涯安心設計～	道下 俊一	—	中止
26	10月12日(月) 14:00～15:30	歴史講座 遊郭を考える	角谷 優二	—	中止
27	10月17日(土) 14:00～15:30	生活講座 文人好み煎茶道を体験する ～茶道を通じ日本文化を学ぶ～	山岸 澄江	—	中止
28	10月20日(火) 15:00～16:30	健康講座 環境認知度(テーマ2-1:認知症予防はフレイルから)	竹下 知子	30人	21人
29	10月27日(火) 14:00～15:30	自然講座 トキ復活？保護活動から分かること	西屋 馨	30人	6人
30	10月31日(土) 14:00～15:30	歴史講座 金沢出身・磯田謙雄の知られざる業績	谷口 和男	30人	17人
31	11月 5日(木) 14:00～15:30	自然講座 日本海の食用エビ・カニ類	本尾 洋	30人	12人
合 計				305人	175人

### 事業の評価(成果・課題)

この事業は、受講者と講師が共に成長していくことができる講座として定着し、今年度は31名の講師による31講座が計画されたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を受けて、16講座が中止になり、開講された講座の定員も15～30名への削減となった。

そのため参加人数は延べ175人と昨年度の801人(29講座)を大幅に下回った。参加率(定員総数に対する参加人数の割合)も、昨年度68.2%に対して57.4%と減少したのは、コロナ感染のリスクを避けるため外出を自粛する高齢者が多かったためと推測される。しかし、歴史関係講座の参加率は75.0%と高く、関心の高さを窺い知ることができる。

今年度は新規講師が3名加わり多様なテーマの講座を提供できたが、話し方や資料提示方法に改善の余地のある講座もあったため、より分かりやすい講義となるよう講師のスキルアップのサポートにも努めたい。

(9) あすなる悠々塾講師養成研修

趣 旨

生涯学習活動などを通して学んだ成果を活かして講師となる「あすなる悠々塾」において、次年度の講師となることができるよう、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者なし

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	履修	定員	参加者
1	7月8日(水) 13:30～15:30	プレゼンテーションの基本	NPO法人キャリアネットワーク北陸 理事長 岡野 絹枝	必修	10人	0人
2	7月15日(水) 13:30～15:30	チラシの魅せ方	銅版画家・文筆家 三宅 エミ		10人	0人
3	7月22日(水) 13:30～15:30	スピーチプレゼンテーションの技法	NPO法人キャリアネットワーク北陸 理事長 岡野 絹枝		10人	0人
4	7月28日(火) 13:30～15:30	シンプルで伝わりやすいプレゼン 資料の作り方	あぼじら 代表 伊藤 雅恵		10人	0人
5	令和2年度「あすなる悠々塾」聴講 ※ 下記の「あすなる悠々塾」講座番号10217～10224の中から1つ聴講し、評価書を提出			選択		0人
	8月7日(金)	あすなる悠々塾 講座番号10217	金沢港、その機能と役割～その現状と展望～			
	8月26日(水)	// 講座番号10218	はじめての「古文書」講座 ～加賀百万石を支えた人たちの思いを感じよう～			
	8月31日(月)	// 講座番号10219	「明智軍記」と明智光秀の謎多き生涯			
	9月8日(火)	// 講座番号10220	「点字と朗読」ボランティアから学んだこと			
	9月11日(金)	// 講座番号10221	終活で知っておきたい整理収納のコツ			
	9月17日(木)	// 講座番号10222	傘寿さんさん(6)			
	9月24日(木)	// 講座番号10223	神社って何？金沢市内神社・狛犬巡り Vr.2.0			
9月30日(水)	// 講座番号10224	色彩とコミュニケーションの 相乗効果でいきいきと！				
6	11月18日(水)	企画書発表会		必修	10人	0人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、4月に新型コロナ感染拡大防止のための石川県緊急事態宣言が出され外出も自粛となったために、募集を周知できず、応募者がいないという結果となった。

あすなる悠々塾の内容を充実させ魅力ある講座とするには、新規講師の確保は重要と考えられるので、応募チラシの配布先やポスターの掲示先等、周知方を工夫して、応募者の掘り起こしに努めたい。

## (10) 人権講演会

### 趣 旨

社会教育における人権教育活動の一環として、人権尊重の理念について県民の理解を深めるとともに、人権意識を高めていくための学習機会を提供する。

### 対 象

一般及び公民館職員基礎研修受講者

### 会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

### 日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
12月18日(金) 13:00~14:30	人権講演会 (演 題) 「学校リスクを『見える化』する : 教育の持続可能性をもとめて」	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 准教授  内 田 良	100人	60人

(注) 参加人数内訳：一般12人、公民館職員基礎研修29人、学校関係者19人

### 事業の評価(成果・課題)

講演会は、愛知県で新型コロナウイルス感染状況が悪化したためZoomで行った。講師の内田氏は、子どもの部活動や運動会、いじめの問題に対して具体的に根拠となる数字を示して、私たちが無自覚に思い込んでいる点を指摘した。その上で、教育を持続可能にするために、子どもの人権を考えながら「人権の意識」、「安全の意識」をもった教員が教員集団を構成し、子どもの教育活動に当たる必要性を説いた。

アンケート結果では、「内容は理解できた」「興味が持てる内容である」「満足できた」との回答は100%、「今後に活かせる」93.3%であった。Zoomの利用についても概ね好評であり、これからも活用していきたいが、音声不明瞭な点や対面を希望する声もあり、新型コロナウイルス感染状況を注視しつつ、講座を実施していきたい。

## (11)世界理解講座

### 趣 旨

中央で活躍する著名な講師を招いた「世界理解講座特別講演会」や日本人学校経験者による「世界理解講座～世界そのまんま～」を実施し、県民が世界地理を学ぶ機会を提供する。

### 対 象

一般県民

### 会 場

石川県立生涯学習センター

### 日 程

日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
6月28日(日) 14:00～15:30	特別講演会 「日本から見たブラジル、ブラジルから見た日本」	四国大学 経営情報学部 教授 萩原 八郎	—	中止
10月18日(日) 14:00～15:30	世界そのまんま① 「多民族国家マレーシアの暮らし」	マレーシア 前ペナン日本人学校・教諭 田畑 良夏	30人	19 人
10月21日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま② 「シンガポールから学んだこと1」	前シンガポール日本人学校・校長 池端 弘久	30人	29 人
11月 4日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま③ 「オーストラリアの政治・選挙制度 ～投票は国民の義務など～」	オーストラリア 元シドニー日本人学校・教諭 松浦 直裕	30人	24 人
11月 7日(土) 14:00～15:30	世界そのまんま④ 「フィリピンでの暮らし ～本当の幸せとはなにか～」	フィリピン 前マニラ日本人学校・教諭 浜中 真希	30人	21 人
11月11日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま⑤ 「プラハ散歩道」	チェコ 元プラハ日本人学校・教諭 野村 泰裕	30人	27 人
		計	150人	120 人

### 事業の評価(成果・課題)

「特別講演会」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった。

「世界そのまんま」は、昨年と同じマレーシア、オーストラリア、チェコに新たにシンガポール、フィリピンを加えて実施した。シンガポール、フィリピンは帰国直後で、最新の情報を提供することができ、大変好評であった。コロナ禍の中、昨年度に比べ受講者が38名の減となった。来年度は1ヶ国変更し、ハンガリーを加えて実施する予定である。

## (12)ファミリー・カレッジ in 本多の森

### 趣 旨

主に30歳代から40歳代の子育て世代を対象に、子どもを含むファミリー層の生涯学習に対する意欲を引き出し、全ての世代を通じた生涯学習の推進を図る。

### 会 場

石川県立生涯学習センター会議室、金沢大学体育館

### 日 程

	日 時	対 象	内 容(演 題)	講 師	定 員	参加人数
1	4月25日(土) 13:30~15:00	小学生と その保護者	「親子で楽しく歌って踊ろう」	金沢ティーンズミュージカル 講師 山科 妃登美	—	中止
2	8月8日(土) 13:30~15:00	小学生(4年 生以上)と その保護者、 中学生	「アニメーション映画の作り方」	アニメーション映画監督 米林 宏昌	20組	19 組 39 人
3	11月1日(日) 13:30~15:00	小学生と その保護者	「井上あずみファミリーコンサート」	歌手 井上 あずみ	30組	35 組 104 人
4	12月12日(土) 13:30~15:00	年少~ 小学3年生と その保護者	「親子体操で楽しく元気に！」	体操インストラクター 医学博士 佐藤 弘道	80組	54 組 135 人
5	2月11日(木) 13:30~15:00	小学生と その保護者	「実験で楽しむ銀河鉄道の夜」	金沢・金の科学館代表 四ヶ浦 弘	30組	30 組 63 人
合 計						341 人

### 事業の評価(成果・課題)

今年度は、小学生とその保護者を対象としたワークショップ型講演会を4回、講演会を1回を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、第1回は中止となり年間4回の実施となった。中央の著名講師として、アニメーション映画監督の米林宏昌氏、歌手の井上あずみ氏、元おかあさんといっしょ体操のお兄さんの佐藤弘道氏を招くことができた。佐藤弘道氏の招聘については国立能登青少年交流の家の協力いただいた。新型コロナウイルス感染拡大の影響で定員を大幅に削減して実施せざるを得なかったため参加者数は341人となり、昨年度の1,041人から大幅に減少した。講座後のアンケート結果では、4回を総合して「興味を持てる内容である」97.0% (十分+おおむね)、「満足できた」95.2% (同前)と、高評価を得ることができた。来年度は、体操教室の指導者、元南極観測船乗員、音楽演奏家など地元講師を増やす予定である。

### (13) オリンピック・パラリンピック・カレッジ in 本多の森

#### 趣 旨

幅広い年齢層を対象にオリンピック・パラリンピックで活躍したアスリートを講師とする講演会や写真展を開催し、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る。

#### 対 象

一般

#### 会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

#### 日 程

日 時	内 容(演題)	講 師	定員	参加人数
3月 6日(土) 13:30～15:00	講演会 「その輝きの先にあるもの」	柔道女子57Kg級ロンドン オリンピック金メダリスト 松本 薫  聞き役 石川テレビ放送 アナウンサー 稲垣 真一	100人	73人

#### 事業の評価(成果・課題)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で東京オリンピック・パラリンピックが延期となり、当初5月31日に予定していた講演会も開催できなくなったため、日程を再調整して3月6日での実施となった。講師に石川県出身の柔道女子57Kg級ロンドン五輪金メダリスト松本薫氏を招き、石川テレビのアナウンサーとのトークショー形式での講演会とした。

松本氏には、オリンピックと聖火リレーへの特別な思い、世界の強豪選手と戦うための戦術、現在の子育てのエピソードなど、ユーモアを交えて幅広くお話いただいた。また松本氏が持参した金メダルと銅メダルに参加者が直接触れる時間もあり、貴重な経験となった。

アンケート結果では、内容の理解(十分・概ね理解の合計:以下同様)98.5%、興味ももてる内容である98.6%、今後活かせる内容である97.1%、満足できた98.6%と高評価で、「アスリートならではの話が聞けて良かった」「諦めずに夢をもてたのはすごい」「メダルに触ることができて良かった」「松本さんの人柄が良く分かって楽しかった」などの感想が多かった。講座の目的である「オリンピック・パラリンピックの機運醸成」は十分に達成できたと思われる。次年度はパラリンピックの魅力が伝えられる講演会の開催を行ってきたい。

(14) 兼六ビデオ講座

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対象

一般県民

会 場

石川県立生涯学習センター第3会議室

日 程

・ 1期

番号	日 時	内 容(演 題)			定員	参加人数
1	1月13日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 「ふるさとを歩く」 開山1300年の霊峰	いしかわ人国記 ・黒川良安	失われた文明インカ・マヤ アンデス、ミイラと生きる	24人	15人
2	1月20日(水) 14:00～16:00	” 金沢・大野こまちなみ	” ・横山隆興	” マチュピチュ、天空に続く道	24人	21人
3	1月27日(水) 14:00～16:00	” 能登金剛・日本海と大地の息吹	” ・木村栄	” 密林が生んだ二千年の王国	24人	22人

・ 2期

番号	日 時	内 容(演 題)			定員	参加人数
1	7月27日(月) 14:00～16:00	いしかわ大百科2017 「次代へつなぐ人々」 いしかわのジビエをおいしく	いしかわ人国記 ・小川直子 ・関沢明清	カラーでよみがえる 第一次世界大戦 人間性の喪失	24人	16人
2	8月 3日(月) 14:00～16:00	いしかわ大百科2015 「いしかわ再発見・かがやく人々」 輪島塗の美意識 ～うるしがつなぐ伝統～	” ・高峰譲吉 ・平沢嘉太郎	” 際限なき殺戮	24人	20人
3	8月11日(火) 14:00～16:00	” 新ブランドに挑む ～加賀野菜スイーツ～	” ・津田米次郎 ・小野太三郎	” 総力戦の結末	24人	20人
4	8月17日(月) 14:00～16:00	いしかわ大百科2017 「次代へつなぐ人々」 日本で一番小さな農家	” ・東善作 ・天野わか	よみがえる第二次世界大戦・カラー化された白黒フィルム ヒトラーの野望	24人	21人
5	8月25日(火) 14:00～16:00	” 九谷の図柄で新発想	” ・木村雨山 ・千代尼	” 日米開戦	24人	20人
6	8月31日(月) 14:00～16:00	いしかわ大百科2015 「いしかわ再発見・かがやく人々」 きらめく色彩 ～加賀友禅の新たな美～	” ・西田幾多郎 ・中谷宇吉郎	” 人類の“悪夢”	24人	18人

・ 3期

番号	日 時	内 容(演 題)			定員	参加人数
1	11月 6日(水) 14:00~16:00	いしかわ大百科 「いしかわ手仕事の味」 食材の旨味を活かす 佃煮	いしかわ人国記 ・小川直子 ・関沢明清	特別プログラム  ディープインパクト2018	24 人	21 人
2	11月20日(金) 14:00~16:00	〃 知恵が生んだ発酵食品	〃 ・高峰譲吉 ・平沢嘉太郎	MEGAQUAKE3巨大地震 次の直下地震はどこか	24 人	17 人
3	11月27日(金) 14:00~16:00	〃 ふるさと かぶら寿司 めぐり	〃 ・津田米次郎 ・小野太三郎	〃 揺れが止まらない	24 人	20 人
4	12月 4日(金) 14:00~16:00	〃 厳冬を彩るカーテン やきもち	〃 ・東善作 ・天野わか	〃 よみがえる関東大震災	24 人	17 人
5	12月11日(金) 14:00~16:00	〃 山ろくを支える食 堅豆腐	〃 ・木村雨山 ・千代尼	〃 南海トラフ見え始めた予兆	24 人	20 人
6	12月18日(金) 14:00~16:00	〃 能登の飴ものがたり	〃 ・西田幾多郎 ・中谷宇吉郎	MEGAQUAKE 南海トラフ巨大地震 迫りくるXデーに備えろ	24 人	18 人
1期から3期までの合計					360 人	286 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も3期に分けてそれぞれテーマを変え実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛等が影響し、参加者数は前年度より約17%減少した。

県民大学校放送利用講座として放映された「いしかわ大百科」からは、「ふるさとを歩く」、「次代へつなぐ人々」、「いしかわ再発見・かがやく人々」、「いしかわ手仕事の味」の各シリーズを上映した。また、同じく県民大学校放送利用講座として放映された、石川の偉人たちを取り上げた「いしかわ人国記」を全期に上映した。いずれも、石川県の歴史・文化を学び、郷土についてより深く知りたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも好評であった。

また、1期では「失われた文明インカ・マヤ」を上映したが、知られざる文明について、わかりやすく学ぶことができたこと好評であった。2期では「カラーでよみがえる第一次世界大戦」「よみがえる第二次世界大戦・カラー化された白黒フィルム」を上映したが、戦争の悲惨さと実情が伝わり、平和を求める感想が聞かれた。3期では「MEGAQUAKE」シリーズ及び映画「ディープインパクト2018」を上映したが、巨大地震の恐ろしさとこれに備えることの大切さが十分に伝わった。いずれも解説を加えることでより理解しやすくなり、この講座が好評である一因となっている。

当センター視聴覚ライブラリーでは良質の映像教材を数多く所蔵しており、今後もこれらの教材を活用した学習機会の提供は重要であると考えます。

### (15) 本多の森シネマアーカイブ

#### 趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するVHSビデオの貴重な映像教材を活用し、過去の自然、文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

#### 対象

一般県民

#### 会 場

石川県立生涯学習センター

#### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	定員	参加人数
1	8月 7日(金) 14:00～15:30	①学問と情熱 第11巻 新渡戸 稲造 ②NHK思い出倶楽部Ⅱ ～黎明期の大河ドラマ編～ 花の生涯 第1回 ～青柳の糸～	12 人	12 人
2	9月 2日(水) 14:00～15:30	①学問と情熱 第12巻 柳 宗悦 ②NHK思い出倶楽部Ⅱ ～黎明期の大河ドラマ編～ 赤穂浪士 第47回 ～討ち入り～	12 人	14 人
3	10月 7日(水) 14:00～15:30	①学問と情熱 第13巻 保科 五無斎 ②NHK思い出倶楽部Ⅱ ～黎明期の大河ドラマ編～ 太閤記 第42回 ～本能寺～	12 人	11 人
4	11月 2日(月) 14:00～15:30	①学問と情熱 第14巻 大宅 壮一 ②NHK思い出倶楽部Ⅱ ～黎明期の大河ドラマ編～ 竜馬がゆく 第16回	12 人	11 人
5	12月 7日(月) 14:00～15:30	①学問と情熱 第15巻 宮本 常一 ②NHK思い出倶楽部Ⅱ ～黎明期の大河ドラマ編～ 天と地と 第50回 ～川中島の章～	12 人	11 人
合 計			60 人	59 人

#### 事業の評価(成果・課題)

過去の記録や歴史資料など貴重な映像を県民の方々に見ていただけた。他では見る機会が少ない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。当センター視聴覚ライブラリーでは、今後もこのようなVHSテープを大切に保管し、貴重な映像を後世に伝えていきたいと考えている。

## (16)本多の森映画会

### 趣 旨

当センター視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材を活用し、名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出増を図る。

### 対 象

一般県民

### 会 場

石川県立生涯学習センター

### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	定員	参加人数
1	8月26日(水) 10:00～12:00 14:00～16:00	「教誨師」	24 人	24 人
2	11月1日(日) 13:20～16:00	「家康、江戸を建てる」(前・後編)	24 人	15 人
3	1月24日(日) 14:00～15:40	「セカイイチ オイシイ水 ～マロンパティの涙～」	24 人	24 人
合 計				63 人

### 事業の評価(成果・課題)

今年度も様々なテーマを持った作品を取り上げ、多様なニーズに応えた。8月は、6人の死刑囚と教誨師の対話を通しての魂のぶつかり合いを描く作品。11月は、初めて江戸の城下を開く際に、上水工事、新貨幣作成に至る経過、武士、農民、職方などの苦難を描く作品。1月は、フィリピンの離島で、飲料水の不衛生から健康を害する環境にあり、上水道建設に携わる日本のボランティアの女子大学生を中心に、援助の困難さと、現地の人々の複雑な感情を併せて描く作品。

主な参加者の中高年世代に好評で、映画上映会の継続実施を望む声も多く聞かれた。今後も、より利用者が参加しやすい環境での上映会を検討したい。

(17) 夏の子ども映画会

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対 象

幼児、小学生及び保護者

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	定員	参加人数
1	7月20日(月)	①「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 花咲か爺さん/一寸法師/おむすびころりん ②「ゲーフィーのバスケットボール」より ゲーフィーのスキー教室/野球教室/水泳教室/ /ゴルフ教室	—	中止
	10:00~11:00			
	13:30~14:30			
	15:30~16:30			
2	7月23日(木)	両日とも同じ作品を上映	24人	14人
	10:00~11:00			
	13:30~14:30			
	15:30~16:30			
合 計				14人

事業の評価(成果・課題)

例年、夏季休業期間中の行事としてのニーズに合致して、児童クラブ・幼稚園・保育園等の団体を取り込んでいる。今年度は感染症対策のため定員を縮小したが、猛暑の影響もあって参加数は伸びなかった。

休業期間中の子どもたちに良質の映像作品を視聴してもらう貴重な機会となっており、次年度以降はより多くの子どもたちに視聴してもらえる環境づくりを検討したい。

### 3 学習情報・教材提供

#### (1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

##### 業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」、「講師案内」、「視聴覚教材情報」、「ふるさと情報」、「イベント情報」の提供をインターネット上で行っている。

また、県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び当センター主催の「ふるさとモット学び塾」講座、「いしかわビデオ作品コンクール」優秀作品の動画配信も行っており、幅広く県民の要望に応えるべく、充実した生涯学習情報の提供に努めている。

##### 対 象

一般県民

##### 運 用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置し、石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

##### 提供情報

<データベース>

区 分	内 容	データベース 保有件数	令和2年度 延べアクセス件数
ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,438	527
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ・CD・DVD教材	11,888	24,248
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	191	976
講 座 案 内	県内の各種講座・講演会等	1,797	22,825
講 師 案 内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	374	6,449
映 像	今蘇る石川の記録映画	12	292
	ふるさとモット学び塾講座	31	909
	いしかわビデオ作品コンクール優秀作品	2	358
合 計		16,733	56,584

##### データベース情報アクセス件数の推移

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
延べアクセス件数	52,301	54,096	55,915	60,791	56,584

## (2) まなびすとルーム

### 業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県民企画展示コーナー(マナビィコーナー)・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

### 対 象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

### 開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

### 場 所

石川県立生涯学習センター2階

## (3) 視聴覚ライブラリー

### 業務内容

視聴覚教材(DVD・CD等)の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

### 対 象

県内の公民館・学校などの団体  
県内在住または在勤の個人の方(高校生以上)

### 開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

### 場 所

石川県立生涯学習センター2階

### 視聴覚教材保有状況

区分	本数	令和元年度末	令和2年度		合 計
			購 入	寄 贈・その他	
16ミリフィルム		1,556 本	本	本	1,556 本
ビデオテープ		5,928			5,928
CD		822			822
DVD		2,047	67	-7 64	2,171

### 利用状況

区分	本数	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム		83	2,684	32	784	12	548	17	1,414	2	65
ビデオテープ		63	4,443	25	799	28	391	13	252	16	141
CD		430	817	376	750	324	466	310	714	162	719
DVD		2,954	12,406	2,505	11,870	2,582	13,036	2,817	11,839	1,339	6,224

(4) 生涯学習センターだより(館報)

発行日 ・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
5月28日  第280号	表題 「ごあいさつ」  執筆者 石川県立生涯学習センター館長 山越 善耀	表題 「博物館の新たな取り組み」  執筆者 石川県立歴史博物館普及課長 永井 浩
11月25日  第281号	表題 「令和2年度前半を振り返って」  執筆者 石川県立生涯学習センター館長 山越 善耀	表題 「<文学>に出会うということ」  執筆者 徳田秋聲記念館学芸員 藪田 由梨

## (5) 県民企画展示(マナビィコーナー)

### 趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や、展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

### 対 象

一般県民

### 日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00 (ただし、一部の展示は17:00まで)

### 場 所

石川県立生涯学習センター

### 日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月 2日(木)～ 4月10日(金) 9:00～18:00	陶心会作品展	鶴寿園陶心会
2	7月 1日(水)～ 7月31日(金) 9:00～17:00	石川県立九谷焼技術研修所 研修生作品展	石川県立九谷焼技術研修所
3	10月 1日(木)～10月30日(金) 9:00～17:00	美川刺繍教室作品展	石川県民大学校 美川刺繍教室
4	11月 8日(日)～11月29日(日) 9:00～17:00	第1回北陸の鉄道写真展 ～季節の風景～	北陸の鉄道写真展実行委員会
5	12月 1日(火)～12月28日(月) 9:00～18:00	第15回パッションネイト作品展の 「福島忠 ひとり展」	グループパッションネイト
6	1月 4日(月)～ 1月31日(日) 9:00～18:00	布絵本展	ボランティアサークル おもちや箱
7	2月 7日(日)～ 2月27日(土) 9:00～18:00	水引&手作り作品展 ～高居昌代・浅市恵子 二人展～	浅市 恵子
8	3月 1日(月)～ 3月31日(水) 9:00～18:00	“あじゅ”てづくり手芸作品展	地域活動支援センター あじゅ

### 事業の評価(成果・課題)

個人や団体の学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、陶芸、刺繍、写真、手芸などの展示を紹介できた。どの展示も、作者が作品にかける思いや、意欲的に活動に励む姿勢を伺い知ることができ、生涯学習の啓発に繋がった。また、今年度は、新型コロナウイルスの流行により予定されていた5、6、8、9月の展示が中止となったが、対策を講じて10月から毎月実施することができた。今後も、より多くの方が生涯学習につながる情報を得ることができる共有の場となるよう展示者募集の声掛けやPRに努めていきたい。

## 4 指導者養成・研修

### (1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

趣 旨	生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。
対 象	公民館長及び公民館主事等
会 場	石川県立生涯学習センター
日 程	

回	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	11月25日(水) 10:00～12:00	これからの社会教育に期待されるもの	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重	60人	53人
	13:00～13:50	これからの公民館について	石川県公民館連合会 会長 関戸 正彦		
	13:50～16:00	県推進事業の概要説明	県教育委員会 生涯学習課 課参事(GL) 小山内 裕之		
		実践発表「能登町立上町公民館の活動について」	能登町 上町公民館 主事 中 玲子		
		実践発表「子どもと地域を守る『地域安全マップづくり』」	金沢市 菊川町公民館 主事 原 恵子		
実践発表「人づくり ほうれんそう」	小松市 稚松公民館 館長 柴田 晋作				
2	12月11日(金) 10:00～12:30	地域の魅力をいかしたまちづくり	福井大学 国際地域学部 准教授 田中 志敬	60人	52人
	13:30～16:00	学びから始まる地域づくり	広島修道大学 人文学部 教授 山川 肖美		
3	12月18日(金) 10:00～12:00	公民館活動とSDGsの実践	国連大学サステイナビリティ高等研究所 OUIK事務局長 永井 三岐子	60人	31人
	13:00～14:30	人権講演会「学校リスクを『見える化』する:教育の持続可能性をもとめて」	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 准教授 内田 良		
	14:30～16:00	地域住民を巻き込む情報発信	(株)シェヘラザード ウェブコミュニケーションコンサルタント 石川 京子		
4	1月15日(金) 10:00～12:00	生涯学習推進のための公民館職員の資質、能力	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子	60人	31人
	13:00～14:30	防災施設としての役割と実践	NHK金沢放送局 気象予報士 池津 勝教		
	14:30～16:00	フリーソフトを用いた広報の編集法	金沢泉丘高等学校 教諭 谷口 豊		
5	1月29日(金) 10:00～12:00	公民館職員の役割について	富山大学 地域連携推進機構 教授 藤田 公仁子	60人	48人
	13:00～16:00	公民館実践事例と地域課題発見～解決への糸口			
合 計				300人	215人

(注) ・11月25日・12月11日・1月29日は必修講座

・12月11日は市町生涯学習担当者基礎研修、公民館職員専門研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催  
(参加人数は上記以外に担当者基礎研修11人、専門研修 11人、生涯学習・社会教育担当者等研修4人)

・12月18日の「人権講演会」は、一般公開(参加人数は上記以外に一般31人)

### 事業の評価(成果・課題)

今年度は、新型コロナウイルス感染が拡大したため例年上半期で実施する予定を、11月から1月へ延期しての実施となった。修了者数は、館長18名、主事等29名、計47名と前年度より大幅に増加した。特に、カードゲームを用いたSDGs講座やフリーソフトを利用した広報作りの方法など、今日的な話題や仕事に役立つ講座は好評であった。来年度も公民館長、主事に求められる基礎知識や技能、地域課題に応じた取組などを学べる内容を取り入れ、公民館運営に活かせる講座をめざしたい。

## (2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

### 趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

### 対 象

基礎研修を修了した公民館長及び公民館主事等

### 会 場

石川県立生涯学習センター

### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数	
1	11月30日(月) 10:00~12:00	公民館職員 モットスキルアップ!	杉原企画 代表 杉原 美佐子	30人	14人	
	13:00~16:00	最近の社会教育施策と事業動向 について	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子			
2	12月11日(金) 10:00~12:30	地域の魅力をいかしたまちづくり	福井大学 国際地域学部 准教授 田中 志敬		30人	11人
	13:30~16:00	学びから始まる地域づくり	広島修道大学 人文学部 教授 山川 肖美			
3	1月19日(火) 10:00~12:00	公民館職員の役割について	富山大学 地域連携推進機構 教授 藤田 公仁子		30人	14人
	13:00~16:00	生涯学習や社会教育の専門的な知識 や動向について				
合 計					39人	

(注) ・11月30日、1月19日は必修講座

・12月11日は市町生涯学習担当者基礎研修、公民館職員基礎研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催(参加人数は上記以外に市町生涯学習担当者基礎研修11人、公民館職員基礎研修52人、生涯学習・社会教育担当者等研修4人)

### 事業の評価(成果・課題)

今年度は、新型コロナウイルス感染が拡大したため上半期で実施する予定を変更し、11月から1月での実施となった。1日目は公民館運営で欠かせない組織運営やファシリテーション・コミュニケーションの技術、社会教育の施策の動向、2日目は大学教授による地域の魅力をいかしたまちづくりや学びのプロジェクト作りをワークショップで実践し、3日目は公民館の役割や先進事例を踏まえた専門的な知識や動向を学んだ。

修了者数は、館長2名、主事等1名であった。基礎研修に比べて受講者数が少ないため、ベテランの公民館職員にとって役立つ知識・技術という視点から講座内容や修了要件の見直しを行い、次年度の受講者数の増加を図りたい。

### (3)ファシリテーター養成講座

#### 趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、地域で活動されている方、市町職員、公民館職員、NPO職員にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

#### 参加対象

県・市町職員、公民館職員、NPO職員

#### 会 場

石川県立生涯学習センター会議室、教室1

#### 日 程

##### 【Aコース】

番号	日	時	内 容	講 師	定員	参加人数
1	1月21日(木)	10:00～16:00	Aコース ①	NPO法人NPO政策研究所 理事 谷内 博史	20人	19人
2	1月22日(金)	10:00～16:00	〃 ②	〃	20人	19人
3	2月4日(木)	13:00～16:00	〃 ③	NPO法人百万石ワールドカフェ 理事 香林 せいこ	20人	19人
合 計					60人	57人

##### 【Bコース】

番号	日	時	内 容	講 師	定員	参加人数
1	9月3日(木)	10:00～16:00	Bコース ①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	20人	13人
2	9月4日(金)	10:00～16:00	〃 ②	〃	20人	12人
3	9月15日(火)	13:30～16:00	実地体験計画	生涯学習センター職員	20人	11人
4	9月16日(水) ～11月13日(金)		実地体験(各自)		20人	11人
5	11月26日(木)	10:00～16:00	Bコース ③	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	20人	9人
合 計					100人	56人

#### 事業の評価(成果・課題)

昨年度まで、応用編の受講は入門編の修了を前提とし、両方の受講者に修了認定を行っていたが、今年度から、入門編、応用編をそれぞれAコース(基本的内容)、Bコース(応用的内容)に変更し、Bコース単独での受講も可能とした。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で7月の予定だったAコースの日程を1～2月へ変更した結果、Bコースの後にAコースを実施することとなった。そのため、B、A両コースを受講した人がおらず、例年15人ほどだった修了生が今年度は0人となった。

Aコースのアンケート結果で「全体として満足できた」との問いに対して、十分当てはまる74%、おおむね当てはまる26%と両方で100%となっており大変好評であった。Bコースのアンケート結果でも「全体として満足できた」との問いに対して、十分当てはまる89%となっており、こちらも高評価であった。

今年度のAコースの受講生には、Bコースの受講も希望している人が多いので、来年度のBコース受講を積極的に働きかけていきたい。

(4) 市町生涯学習担当者基礎研修

趣 旨

本年度、市町の生涯学習担当課、市町の生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進するうえで必要な基礎的知識の修得を図る。

対 象

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者で原則として2日間受講できる者

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	11月25日(水) 10:00~12:00	これからの社会教育に期待されるもの	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重	30人	12人
	13:00~13:50	これからの公民館について	石川県公民館連合会 会長 関戸 正彦		
	13:50~16:00	県推進事業の概要説明	県教育委員会 生涯学習課 課参事(GL) 小山内 裕之		
		実践発表「能登町立上町公民館の活動について」	能登町 上町公民館 主事 中 玲子		
		実践発表「子どもと地域を守る地域安全マップづくり」	金沢市 菊川町公民館 主事 原 恵子		
	実践発表「人づくり ほうれんそう」	小松市 稚松公民館 館長 柴田 晋作			
2	12月11日(金) 10:00~12:30	地域の魅力をいかしたまちづくり	福井大学 国際地域学部 准教授 田中 志敬	30人	11人
	13:30~16:00	学びから始まる地域づくり	広島修道大学 人文学部 教授 山川 肖美		
合 計				60人	23人

(注) ・11月25日は公民館職員基礎研修と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修 53人)

・12月11日は公民館職員基礎・専門研修、生涯学習・社会教育担当者研修と合同開催

(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎・専門研修 63人、生涯学習・社会教育担当者研修4人)

事業の評価(成果・課題)

1日目は、公民館職員基礎研修と合同で、公民館に期待される役割や生涯学習・社会教育の概要、県内公民館の代表的な取組事例を学ぶ講座を実施。2日目は公民館職員基礎・専門研修と合同で、午前は、「地域の魅力をいかしたまちづくり」をテーマとしてまちづくりを实践する上でのポイントについて、午後は、「学びから始まる地域づくり」をテーマに先進事例を紹介した後、ワークショップで各人が企画シートを作成し、グループ内で演習、代表者が発表した。

本講座は新規の生涯学習担当職員を対象としており、生涯学習の理念から実践の具体例、職員の果たすべき役割などを網羅的に学ぶことができ、受講者のアンケートでは、8割以上が肯定的な評価であり、「大変参考になった」「地域活性化や地域づくりにとてもためになった」等の意見があった一方で、「抽象的で分かりにくい」「グループワークの時間が短い」等の意見もあった。公民館職員との合同研修であったため、市町担当者としてのニーズに特化した内容になっていなかったことが一因と考えられる。次年度は独自開催の日を設け、新規職員に対してより取り組みやすい講座となるようにしたい。

## (5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

### 趣 旨

学習教材として16ミリフィルムの活用を図るとともに、フィルム保全のため正しい映写技術の普及に努める。

### 対 象

一般県民 随時受付

### 会 場

石川県立生涯学習センター

### 内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定講習(学科、実技)

### 講 師

石川県立生涯学習センター職員

### 日 程

日 時	時 間	参加人数
9月9日 (水)	9:00~12:00	3 人

### 事業の評価(成果・課題)

講習日を限定せず、受講希望者の日程に合わせて実施し、映写技術の継承を図っている。今年度の受講者は3名であったが、他に照会が数件あった。16ミリ映画教材の利用継続のため、今後も講習実施の周知に努めたい。

## 5 マナビフェア in 本多の森 2020

### 趣 旨

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

### 主 催

石川県立生涯学習センター

### 会 場

石川県立生涯学習センター

### 内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象・定員	参加人数
展 示	石川県民大学校写真展 (石川県民大学校事務局)	10月30日(金) ～11月6日(金) 9:00～18:00	1 階 ロ ビ ー	一般	83 人
	著名講師サイン色紙展 (石川県民大学校事務局)	10月30日(金) ～11月6日(金) 9:00～18:00	ま な び す と ル ー ム (マナビコーナー)		
	石川県立生涯学習センター所蔵美術品展	10月30日(金) ～11月6日(金) 9:00～18:00	ま な び す と ル ー ム (学習スペース)		
	石川県民大学校ポスター展 (石川県民大学校事務局)	10月30日(金) ～11月6日(金) 9:00～18:00	中 2 階 通 路		
い し か わ 県 民 大 学 校 講 座	第3回ファミリー・カレッジin本多の森 「井上あずみファミリーコンサート」 講師:井上 あずみ(歌手)	11月1日(日) 13:30～15:00	第 1 会 議 室	一般 30組	35 組 104 人
	ふるさとふれあい講座・金沢会場⑨ 「あめ一筋～ふるさとの味～」 講師:俵 秀昭(㈱俵屋 代表取締役会長)	11月2日(月) 13:30～15:00	第 1 会 議 室	一般 100人	63 人
	世界理解講座 「世界そのまんま③ オーストラリアの政治・ 選挙制度」 講師:松浦 直裕(オーストラリア 元シドニー 日本人学校教諭)	11月4日(水) 14:00～15:30	教 室 1	一般 30人	24 人
	本多の森シネマアーカイブ④ 「学問と情熱 大宅 壮一」 「黎明期の大河ドラマ 竜馬がゆく」	11月2日(月) 14:00～15:30	教 室 1	一般 12人	11 人
	兼六ビデオ講座Ⅲ-① 「いしかわ大百科シリーズ いしかわ手仕事の 味」	11月6日(金) 13:30～15:00	第 3 会 議 室	一般 24人	21 人
映 画 会	本多の森映画会② 「家康、江戸を建てる」	11月1日(日) 13:20～16:00	第 3 会 議 室	一般 24人	15 人
合 計					321 人

### 事業の評価（成果・課題）

今年度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、実演の催事を取りやめ展示のみとし、講座や映画会の募集定員も減らしたことから、期間中の入館者数は321人と、例年に比べて大きく減少したが、次年度以降は、県民の生涯学習の成果発表の場として、さらに充実させていきたい。

## 6 他の機関・団体との主催・共催事業

### (1) 生涯学習・社会教育担当者等研修

#### 趣旨

中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の中で、地域における社会教育には、一人一人の生涯にわたる学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進すること、地域の持続的発展を支える取組に資することが、より一層期待されている。そのような方向性を踏まえ、本研修をとおして、さまざまな担い手が連携・協働した社会教育の推進について考えることを目的とする。

#### 主催

金沢大学社会教育研究振興会

#### 共催

石川県教育委員会

#### 対象

市町生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館等職員、各市町の社会教育委員

#### 会場

石川県立生涯学習センター

#### 参加者数

78人 内訳は、生涯学習・社会教育担当職員4人、公民館職員基礎研修52人、公民館職員専門研修11人  
市町生涯学習担当者基礎研修11人

#### 期日

令和2年12月11日(金) 10:00～16:10

#### 日程

日時	内容	講師
10:00～10:05	開会挨拶	石川県教育委員会事務局生涯学習課 課長 清水 茂
10:05～10:15	趣旨説明	金沢大学名誉教授 浅野 秀重
10:15～12:30	講義「地域の魅力をいかしたまちづくり」	福井大学 国際地域学部 准教授 田中 志敬
13:30～16:00	講義「学びから始まる地域づくり」	広島修道大学 人文学部 教授 山川 肖美
16:00～16:10	全体講評および閉会挨拶	金沢大学名誉教授 浅野 秀重

#### 事業の評価(成果・課題)

午前の部は、福井大学の田中志敬准教授が、まちづくりを実践する上でのポイントについて事例を紹介しながら解説し、「地域課題分析シート」を用いた地域課題分析とプランニングの手法を紹介した。その後、これらを踏まえて受講者各自が課題分析を行い、グループ内で意見交換した。

午後の部はZoomを利用した講義、演習となった。講師の広島修道大学の山川肖美教授が、学習活動や学ぶ場があることが個々人の幸福感や生活満足感につながる可能性があることなどを講義し、後半は、先進地域の事例を参考にしながら個人及びグループで「企画シート」を用いて「学びから始まるプロジェクト」を作成し、最後に代表者がウェブカメラを用いて講師に発表し助言を得た。

アンケート結果では「理解できた」については肯定的な評価が84.6%だったが、「今後活かせる」「満足できた」が70%弱とやや低めの結果となった。公民館職員と市町生涯学習担当者との合同開催だったこと、Zoomでの講義で音声が聞きづらかったこと、予定していた演習が最後までできなかったこと、新型コロナウイルスへの感染リスクが払拭されていない時期でのグループワーク実施に対する懸念等の要因が考えられる。これらの反省を踏まえ、次年度は対象を絞った運営を検討したい。

## (2) 教育事務所管内別生涯学習研修会

### 趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

### 主 催

金沢大学社会教育研究振興会

### 共 催

石川県教育委員会、各市町教育委員会

### 対 象

市町生涯学習担当課職員、公民館職員等

### 日 程

教 育 事 務 所	日 時	内 容 等	参加者
金 沢	11月18日(水) 13:30~15:00	趣 旨 地域づくりに貢献すべくこの研修会をとおして基本的な方向性や役割についての理解を深め、地域の将来を見据えた社会教育、地域づくりの可能性を学ぶ機会とする。 講 義 「笑いのコミュニケーションスキル」 師 落語家 月亭 方気 会 津幡町文化会館「シグナス」 場	30 人
小 松		実施せず	—
中能登		実施せず	—
奥能登	12月3日(木) 13:30~15:30	趣 旨 チラシのデザインや作成の仕方を体系的に学び、今後の社会教育活動に反映することを目指す。 講 義 「人が集まる講座とチラシの作り方」 師 NPO法人男女共同参画おおた理事長 坂田 静香 会 能登町役場 2階 大集会場 場	39 人
合 計			69 人

### 事業の評価(成果・課題)

今年度から教育事務所管内ごとに研修の実施の有無を含めて運営を一任した。各教育事務所別に照会した結果、金沢、奥能登で実施の希望があり、2教育事務所管内での開催となった。金沢は、落語家・月亭方気氏を招いた講演会を実施したが、大変好評であった。奥能登はNPO法人男女共同参画おおた理事長の坂田静香氏を招いてチラシ作りについてワークショップを行う予定であったが、コロナ禍のため、オンラインによる研修会の形態へ変更した。金沢、奥能登からは来年度も実施したいとの希望があり、実施の方向で検討したい。

### (3) 県民映像カレッジ

#### 趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

#### 主 催

石川県視聴覚教育協議会

#### 共 催

石川県立生涯学習センター

#### 対 象

一般県民

#### 会 場

石川県立生涯学習センター

#### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数 (延べ数)
1	9月7日(月)・14日(月)・23日(水) ・28日(月)・10月5日(月) 13:30～16:00	ビデオ撮影・編集に関する講義、ビデオ編集 実習	元一木公民館長 岡野 重和	5 人	14 人

#### 事業の評価(成果・課題)

参加者はビデオ撮影・編集に関する知識・技能を向上することができた。参加人数が少ないので、より幅広い年代の方が受講しやすくなるよう工夫して、映像制作文化の発展に寄与する講座としたい。

#### (4)ICTセミナー

##### 趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

##### 主 催

石川県視聴覚教育協議会、志賀町教育委員会(第1回のみ)

##### 共 催

石川県立生涯学習センター

##### 対象

第1回・第2回 各市町社会教育・生涯学習関係職員(担当課・公民館・図書館等)、高等学校教員等  
第3回 教育機関(団体)広報担当職員

##### 会 場

第1回 志賀町文化ホール

第2回・第3回 石川県立生涯学習センター

##### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	10月13日(火) 14:00～15:30	SAVSで創る令和の公共交通サービス	金沢工業大学工学部 情報工学科 講師 佐野 渉二	18人	17人
2	10月29日(木) 14:00～15:30	令和時代のコンピュータとの付き合い方 ～Society5.0、AI、IoT、プログラミング教育～	金沢工業大学工学部 情報工学科 准教授 河並 崇	12人	11人
3	11月12日(木) 13:30～16:30	初歩からのZoom活用講座	officeアシスタ 代表 山川 広美	10人	12人

##### 事業の評価(成果・課題)

様々な技術が発展し社会が変化していく中で、ICTの動向を捉える良い機会となった。またニーズの高いアプリケーションプログラムの講座は参加者に大変好評であった。今後もニーズを的確に捉えたテーマを設定し、開催を継続したい。

## (5) 令和2年度(第51回)いしかわ映像作品コンテスト

### 趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

### 主催/共催

石川県視聴覚教育協議会／石川県教育委員会

### 後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、  
石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

### 応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

### 応募期間

令和2年10月1日(木)～令和3年1月29日(金)

### 応募規定及び賞

規定 題材は自由 例・学校(幼稚園等を含む)や公民館等の生涯学習施設で教材として活用できるビデオ教材

- ・学校紹介ビデオ
- ・一般撮影作品、ほか

賞 石川県教育委員会賞(最優秀賞)、石川県社会教育協会賞(優秀賞)、  
石川県公民館連合会長賞(優秀賞)、奨励賞を授与する。

### 審査及び授賞式

審査会 令和3年2月16日(火) 13:30～17:15

授賞式 令和3年3月7日(日) 14:00～15:30

### 審 査 員

越田 久文(金沢学院大学准教授) <審査委員長>

岡野 重和(県民映像カレッジ講師)

上坂 律人(石川県教育委員会生涯学習課)

山越 善耀(石川県立生涯学習センター館長)

### 応募作品数

14点

### 審査結果及び授賞者氏名

内 容	
石川県教育委員会賞(最優秀賞) 「左手の芸術家」 石川県立金沢泉丘高等学校 放送部	
石川県社会教育協会賞(優秀賞) 「保健委員会ちゃんねる Vol.2 感染防げ! 換気実験」 金沢市立工業高等学校 保健委員会	石川県公民館連合会長賞(優秀賞) 「恵みのシャワー」 小屋 忠男
奨励賞 「行こう! 金沢へ!! ～百万石行列～」 金沢市立港中学校 放送部	「たけのこ掘り」 古林 千代子
「フレイル予防『みんなでやらんけ! 志賀人体操』」 石川県立志賀高等学校 総合学科3年	「学校紹介動画」 金沢大学附属高等学校 生徒会

### 事業の評価(成果・課題)

令和2年度は、10月1日から翌年1月29日までを募集期間とし、14点の応募があった。

今後も、より多くの県民からご応募いただけるよう、各学校・視聴覚教育研究団体への早期の働きかけなどにより、コンクールの実施・作品募集の周知を図ることや、「県民映像カレッジ」との連携などを検討したい。

(6) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第17号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月24日 第17号	SAVSで創る令和の公共交通サービス	金沢工業大学工学部 情報工学科 講師 佐野 渉二

## Ⅱ 生涯学習センター能登分室

### 1 講座事業

#### (1) ふるさとふれあい能登校講座

##### 趣 旨

石川の歴史・文化・自然・産業等について学び、郷土に対する理解を深め、誇りと愛着をもつ。

##### 対 象

一般

##### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室、のと里山里海ミュージアム（番号6）

##### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	5月26日(火) 【中止】	「能登ワインの歩み」	能登ワイン(株)社長 村山 隆	—	中止
2	6月3日(水) 13:30～15:30	「長谷川等伯～活躍を導いた最強の人脈を中心に～」	石川県七尾美術館次長・学芸員 北原 洋子	12人	11人
3	10月28日(水) 13:30～15:30	「私の歴史散策～城・人物ゆかりの地～」	元輪島市立大屋小学校校長 田上 博幸	40人	13人
4	6月24日(水) 13:30～15:30	「能登の海・山～竜宮と浄土～」	加能民俗の会会員 西山 郷史	12人	10人
5	9月15日(火) 13:30～15:30	「漆 ( J A P A N ) を世界へ～彦十蒔絵の目指す場所～」	輪島塗再生プロジェクト実行委員会代表・彦十蒔絵主宰 若宮 隆志	24人	12人
6	10月8日(木) 13:30～15:30	「七尾鹿島の歴史と文化」	のと里山里海ミュージアム館長 和田 学	30人	8人
7	11月5日(木) 13:30～15:30	「日本刀の成り立ちと製作工程」	刀工 松田 恒治	40人	16人
合 計				158人	70人

##### 事業の評価(成果・課題)

地域の歴史・文化・史跡等に興味・関心が高い受講生が多かったのは、例年同様であった。地域産業における新たな取組に挑んでいる講師の方々の講座も、受講生には好評であった。

#### (2) 能登文化講座

##### 趣 旨

能登の地域住民が、著名な講師による専門性の高い講話を通し、より広い人生体験や歴史・文化にふれることにより、豊かな生活を営むとともに、さらなる生涯学習への意欲喚起に活かす。併せて、「のと里山空港」の賑わい創出を図る。

##### 対 象

一般

##### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

##### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	7月4日(土) 【中止】	「本能寺の変の謎を解く」	歴史研究家 小和田 泰経	—	中止

##### 事業の評価(成果・課題)

小和田泰経氏は、戦国武将・城郭・合戦・武具に詳しく令和2年度のNHK大河ドラマの時代考証補として参加されていることもあり、事前の期待が大きかった。しかしながら新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、のと里山空港開港記念イベントがすべて中止となり、能登文化講座も中止となった。新型コロナ対策に万全を期し、次年度開催の準備を進める。

### (3) 能登の歴史探訪講座

#### 趣 旨

能登の歴史を学び、ゆかりの史跡や文物を訪ねて、ふるさとへの理解を深める。

#### 対 象

一般

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室、珠洲焼資料館（3番）

#### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	10月7日(水) 13:30～15:30	「能登の霊山信仰と石動山天平寺」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	30人	26人
2	10月14日(水) 13:30～15:30	「能登櫛比荘と諸嶽山総持寺」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	30人	24人
3	10月21日(水) 13:30～15:30	「奥能登珠洲岬と高座宮高勝寺」 (現地研修 珠洲焼資料館)」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	15人	11人
合 計				75人	61人

#### 事業の評価(成果・課題)

受講生からの講演要望が大変強い講師を招いての講座である。能登地域全体を視野に入れた講座内容であり、多くの受講生の身近な地域の歴史に対する興味・関心が深まり、今後の学習意欲にもつながった。

### (4) 古文書解読講座

#### 趣 旨

古文書解読の知識と技能を修得し、地域の新たな歴史や文化などを発見する。

#### 対 象

一般

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

#### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	9月3日(木) 13:30～15:30	「古文書の解読」	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	24人	20人
2	10月29日(木) 13:30～15:30	〃	金沢市立玉川図書館文化政策調査員 池田 仁子	30人	15人
3	9月17日(木) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会会員 左古 隆	24人	20人
4	9月24日(木) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	30人	19人
合 計				108人	74人

#### 事業の評価(成果・課題)

根強い人気のある講座であり、識見の高い各講師のおかげにより満足する声が多いものとなった。受講者も、大変熱心で知識も豊富な人が多かった。

#### (5) 能登陶芸教室

##### 趣 旨

成形・釉薬がけ・焼成などの作陶技術を習得し、陶芸作品づくりを楽しむ。

##### 対 象

一般

##### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

##### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	10月30日(金) 13:30～16:30	成形	珠洲焼作家・県伝統工芸士 坂本 一郎	14人	8人
2	10月31日(土) 13:30～16:30	〃	〃	14人	8人
3	11月14日(土) 13:30～16:30	素焼	〃	14人	7人
4	11月21日(土) 13:30～16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	14人	8人
5	11月27日(金) 13:30～16:30	鑑賞会・講評	〃	14人	6人
合 計				70人	37人

##### 事業の評価(成果・課題)

新しい受講生もいるが複数年にわたって参加している人が多い。新しい人が参加しやすい雰囲気とベテランの創造意欲を高める工夫が必要である。次年度は、特に能登校講座に熱心に参加している未経験者などを対象にするなど広報の工夫をしたい。

#### (6) あすなろ悠々塾in能登

##### 趣 旨

生涯学習活動等をとおして得られた研究成果を生かして、講師自らが企画・運営する。

##### 対 象

一般

##### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

##### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	5月28日(木) 【中止】	「奥能登の地域振興」	久保 修	—	中止
2	6月11日(木) 13:30～15:00	「のとキリシマツツジに魅せられて」	今 正広	12人	6人
3	7月29日(水) 13:30～15:00	「趣味の骨董 青の華、染付の世界」	杉森 学	20人	13人
4	8月26日(水) 13:30～15:00	「奥能登における能登井の役割」	島田 隆雄	20人	5人
合 計				52人	24人

##### 事業の評価(成果・課題)

受講者は、関心を持って聞いていた。地域の人々の誇りや関心事をテーマに毎年新たな講師を入れていく必要がある。

## (7) 能登特別映画会

### 趣 旨

名作映画の鑑賞をとおして、歴史・文化・精神などに親しむ。

### 対 象

一般

### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	定員	参加人数
1	7月1日(水) 13:30~15:30	「ゆらり」	20人	17人
2	7月21日(火) 13:30~15:30	「ガス燈」	20人	18人
3	9月8日(火) 13:30~15:30	「続・深夜食堂」	24人	13人
4	9月29日(火) 13:30~15:30	「三度目の殺人」	40人	21人
5	10月13日(火) 13:30~15:30	「わが谷は緑なりき」	40人	16人
6	10月27日(火) 13:30~15:30	「ミラーを拭く男」	40人	21人
7	11月12日(木) 13:30~15:30	「もういちど」	40人	21人
合 計			224人	127人

### 事業の評価(成果・課題)

受講者の興味関心に配慮した作品が多かったことで、日頃、大画面で映画を見る機会が少ない地域の受講者が映画に見入って感動している姿をたくさん見ることができた。上映権のこともあり、受講者のアンケートを生かした映画を選ぶことが難しい。

## (8) ふるさと文化探究講座

### 趣 旨

DVD映像をとおして、ふるさと石川の歴史・文化・自然・偉人等について学習し、関連講座により郷土への理解と愛着を深める。

### 対 象

一般

### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	定員	参加人数
1	11月18日(水) 13:30~15:30	(1)百万石を支えた男たち 黒羽党・党首 長連弘の海防と財政立て直し策 (2)奇跡の毒抜き ふぐの卵巣の糟漬けに見えるいしかわの発酵文化	20人	7人
2	7月15日(水) 13:30~15:30	(1)ぐい呑みから環境造形まで 日本芸術院会員 九谷焼 武藤敏昭 (2)伊藤若冲 禅と絵画の融合 細密に命を描き出した孤高の作家	20人	9人
3	8月4日(火) 13:30~15:30	(1)未来海道ものがたり 北前船がもたらした海の文化 詳細な解説 (2)海を渡った古文書 ポルトガルから屏風の下張りが語る秀吉	20人	8人
4	8月18日(火) 13:30~15:30	(1)21世紀に伝えるふるさとの心 10市町村の民話	10人	6人
5	9月1日(火) 13:30~15:30	(1)ふるさと伝説の舞台 雨乞い伝説 ガンコウ(柳田村)ほか (2)手取川水系 水がつぐむ絆 ナレーション・映像・音楽の絶妙な調和	20人	8人
6	11月10日(火) 13:30~15:30	(1)環日本海交流と加賀・能登ルーツ 古代からたどる日本の表舞台 (2)白山の記 現代が忘れた「真の豊かなくらし」今、蘇る	20人	9人
合 計			110人	47人

### 事業の評価(成果・課題)

内容が、歴史・文化・技術というようにバランスの取れた構成ができた。ジャンルが異なるため、幅広く知識を得ることができ、興味・関心も広がったようだ。戦国時代の畠山の政治について知りたいとか、越中の歴史を知りたいなど歴史に関心が高い受講生が多いため、各分野の過去の話や物語の構成に重点を置くことが良いと思われる。

### (9) 輪島塗沈金教室

#### 趣 旨

輪島塗の代表的な加飾方法である沈金の技法を体験し、各自が考案した図案をもとに沈金パネルを完成する。

#### 対 象

一般

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

#### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	7月9日(木) 13:30~16:30	各自が考案した図案をもとに、練習用の輪島塗パネルで、沈金専用のノミを使って彫りの練習をする。	輪島塗沈金作家 前古 孝人	8人	4人
2	7月16日(木) 13:30~16:30	パネルに下絵を写し、下絵にそってノミで彫る。彫りが終了後、彫った部分に漆をぬり金粉を入れ完成する。	〃	8人	4人
合 計				16人	8人

#### 事業の評価(成果・課題)

新型コロナ感染拡大の影響により、受講生が少なくなった結果、講師が受講生一人ひとりに指導できる時間が増え、受講生それぞれが納得できる作品ができあがったようであった。次年度も受講したいとの声が多くあった。

### (10) 夏休み子どもわくわく科学教室

#### 趣 旨

身近な科学の実験・工作を行う中で、自然界の隠れた面白さや不思議さに触れ、科学への興味・関心を高める契機とする。

#### 対 象

4年生以上の小学生

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

#### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	8月10日(月) 13:30~15:30	ドライアイスで実験しよう	星稜高校教諭 涌島 英揮	8人	8人
2	8月22日(土) 【中止】	発熱！吸熱！ふしぎな化学実験	〃	—	中止
合 計				8人	8人

#### 事業の評価(成果・課題)

理解し難いことをわかりやすく感じる体験ができた講座になった。理科は難しく、興味や好奇心が持てない児童生徒が多いことを踏まえた講師ならではの工夫にあふれた講座であった。子どもたちは、おもしろい理科の学習にチャレンジし続けてほしい。

### (11) 夏休み子ども特別映画会

#### 趣 旨

子ども向け名作アニメの上映を通して、子どもたちの豊かな情操を育む。

#### 対 象

子ども・保護者

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

#### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	定員	参加人数
1	8月1日(土) 10:00~12:00	「トムとジェリー」 「ゆかいな西遊記」	20人	8人
2	8月8日(土) 10:00~12:00	「それいけ!アンパンマン アイスだ!すいかだ!うきうき海水浴」 「ハローキティのかぐや姫」 「おしりたんていプブツとかいけつ!おしりたんていとうじょう!」	20人	6人
3	8月22日(土) 10:00~12:00	「名犬ラッシー」	20人	5人
合 計			60人	19人

#### 事業の評価(成果・課題)

両親、兄弟、祖父母など家族ぐるみの参加で楽しむ様子が毎回見られた。目玉となりそうな映画の上映が難しく、工夫が必要である。

### (12) 夏休み子ども草木染め教室

#### 趣 旨

身近にある草木からとれた色を使い、自分の模様を考えてオリジナル作品を作る。

#### 対 象

小学生

#### 会 場

穴水町立諸橋公民館

#### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	7月25日(土) 9:30~11:30	藍染めオリジナルハンカチを作ろう	新谷工芸・能登草木染め研究室代表講師 新谷 幸子	8人	6人
2	8月1日(土) 13:30~15:30	藍染めハンカチに模様を描こう	〃	8人	4人
合 計				16人	10人

#### 事業の評価(成果・課題)

受講した子どもたちもその保護者たちも、できあがった作品に満足していた。草木染めが作り出す予想もしていなかった模様や色合いに、受講生たちは、おおいに興味をひかれたようであった。

## 2 他の機関・団体との共催講座

### (1) フランス料理教室

#### 趣 旨

オーナーシェフの指導によるフランス料理を実際につくり、楽しく試食します。

#### 主 催

石川県立生涯学習センター

#### 共 催

石川県社会教育協会

#### 対 象

一般

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

#### 日 程

番号	日 時	内 容	講 師	定員	参加人数
1	10月19日(月) 10:00～13:00	家庭でできるフランス料理	ラトリエ・ドゥ・ハト オーナーシェフ 池端 隼也	11人	11人

#### 事業の評価(成果・課題)

講師からの丁寧な説明を聞き、手際の良い実演を見たのち、受講生が2班に分かれ調理実習を行った。実習後は全員で試食会となり、楽しく、ゴージャスなランチタイムを過ごした。

### (2) 大人の料理教室

#### 趣 旨

秋の食材を生かした手軽な料理作りを楽しみ、地域の食文化や健康食についての理解を深める講座

#### 主 催

石川県立生涯学習センター

#### 共 催

石川県社会教育協会

#### 対 象

一般

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

#### 日 程

番号	日 時	内 容	講 師	定員	参加人数
1	10月 3日(土) 10:00～13:00	秋の食材で彩り良く秋ごはんとスイーツを	地域活動栄養士 沖崎 美子	11人	5人

#### 事業の評価(成果・課題)

受講者はすぐにうちとけて楽しい雰囲気の中、協力しながら、手際よく調理を行っていた。昨年の要望に沿って、スイーツづくりも加わった。郷土食的な料理も入れてほしいとの要望もあり、取り入れていきたい。

### (3) サンドブラスト体験教室

#### 趣 旨

のと里山空港のマスコットキャラクター「スカイのっぴー」の月毎に替わる季節の図柄をガラスコップに彫刻し、物作りの喜びを実感し、併せて空港に親しむ。

#### 主 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会

#### 共 催

石川県立生涯学習センター

#### 対象・定員

一般 各20名（同時入室者数の制限）

#### 会 場

のと里山空港 4階講義室A・B、2階ロビー

#### 日 程

番号	日 時	内 容 (題 材)	参加人数	備 考
1	4月12日(日)	お花見のっぴー	- 人	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止
2	5月10日(日)	のっぴーと鯉のぼり	- 人	中止
3	6月14日(日)	のっぴーと雨宿り	- 人	中止
4	7月 5日(日)	のっぴーと天の川	- 人	中止
5	7月12日(日)	のっぴーと天の川	42 人	講義室A・Bで実施
6	8月 9日(日)	のっぴーと海水浴	56 人	講義室A・Bで実施
7	9月13日(日)	お月見のっぴー	60 人	講義室A・Bで実施
8	10月 7日(水)	のっぴー空の運動会 (志賀小学校遠足)	32 人	講義室A・Bで実施
9	10月11日(日)	のっぴー空の運動会	26 人	講義室A・Bで実施
10	11月 8日(日)	のっぴーモミジ狩り	110 人	2階ロビーで実施
11	12月13日(日)	のっぴーサンタ	15 人	2階ロビーで実施
12	12月20日(日)	12ヶ月自由図柄	123 人	2階ロビーで実施
13	1月10日(日)	のっぴーのお正月	- 人	大雪のため中止
14	2月14日(日)	のっぴーと雪だるま	37 人	講義室Aで実施
15	3月14日(日)	のっぴーひな祭り	46 人	講義室A・Bで実施
合 計			547 人	

※実施日は、毎月第2日曜日、7/5開港記念イベント、12/20クリスマスイベント開催日

時間帯は、10:00~12:00、13:00~15:00

#### 事業の評価(成果・課題)

4月第2日曜日から7月5日の開港記念日まで中止となったが、その後家族やグループの予約中心の参加が多くみられた。のと里山空港の賑わい創出と活性化に寄与する行事となっている。イベント開催日以外では、能登地域の小学校の遠足による参加があった。

### 3 能登分室利用状況

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	30	23	69	55	81	68	54	63	77	49	26	48	57	670	
	元	31	66	54	73	67	60	60	74	71	30	28	11	625	
	2	3	0	27	28	33	28	59	47	43	12	17	31	328	
人数	30	589	1,604	1,160	4,016	1,877	1,152	1,664	1,577	4,532	513	1,075	1,244	21,003	
	元	714	1,587	1,181	3,239	1,696	1,171	1,477	1,454	5,019	451	612	155	18,756	
	2	37	0	253	573	570	560	771	921	514	86	221	497	5,003	
1日平均	件数	30	0.8	2.2	1.8	2.6	2.2	1.8	2.0	2.6	1.8	0.9	1.7	1.8	1.9
		元	1.0	2.1	1.8	2.4	2.2	2.0	1.9	2.5	2.5	1.1	1.0	0.4	1.7
		2	0.1	0.0	0.9	0.9	1.1	0.9	1.9	1.6	1.5	0.4	0.6	1.0	0.9
	人数	30	19.6	51.7	38.7	129.5	60.5	38.4	53.7	52.6	161.9	18.3	37.1	40.1	58.5
		元	23.8	51.2	39.4	104.5	54.7	39.0	47.6	48.5	179.3	16.1	21.9	5.0	52.2
		2	1.2	0.0	8.4	18.5	18.4	18.7	24.9	30.7	18.4	3.1	7.9	16.0	13.9

- ・ 平成15年5月6日開設
- ・ 令和2年度の利用状況
  - ・ 利用件数 328件 対前年比 52.5% (令和元年度 625件)
  - ・ 利用人数 5,003人 対前年比 26.7% (令和元年度 18,756人)

### Ⅲ 調査研究レポート『公民館における事業・講座の運営等に関する実態調査』の結果

#### 1 はじめに

当センターは、金沢大学社会教育研究振興会とともに、今後の本県における生涯学習・社会教育の推進に資するため、県内の公民館を対象に実態調査を行い、令和3年3月に『公民館における事業・講座の運営等に関する実態調査報告書』（以下『報告書』）を発行した。本レポートは、その『報告書』から県内公民館の全体的な特徴についての内容を抜粋して再構成したものである。なお、同様の調査を平成24年度にも実施しており、調査項目が共通の設問に関しては前回調査と比較したグラフになっている。詳細については『報告書』をご覧ください。

#### 2 公民館における事業・講座の運営等に関する実態調査

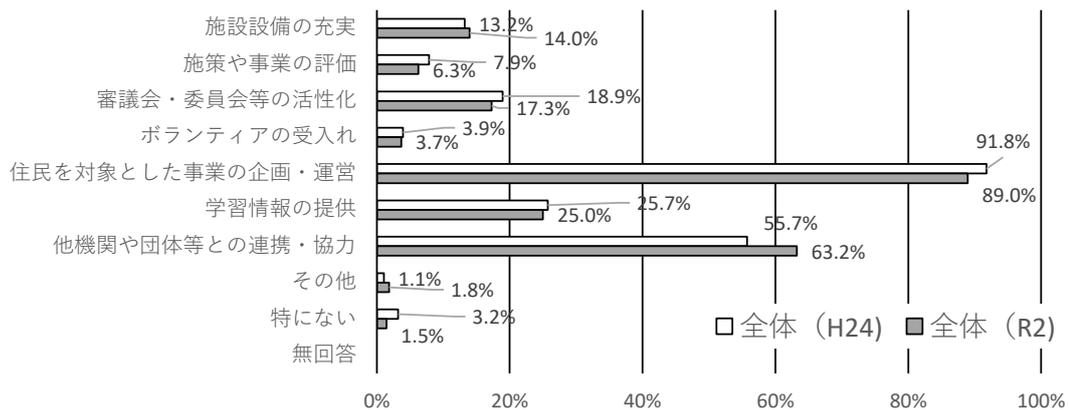
##### (1) 事業運営について

館の運営上の重点的な取組としては（グラフ1）、全体の約9割の館が「住民を対象とした事業の企画・運営」を挙げており、地域住民から期待されている機能としては（グラフ2）、半数以上の館が①教養・趣味の充実のための学習拠点 ②高齢者の活動拠点 ③防災拠点 ④多世代交流の拠点を挙げている。それと呼応するように、住民対象の講座を実施した成果として（グラフ3）、半数以上の館が①学習機会の提供 ②住民同士の交流・ネットワークづくりの促進と回答している。一方で、「地域課題解決」は期待される機能としてあまり意識されておらず（グラフ2）、成果として「地域づくりや地域の地域課題解決につながった」を挙げた館も少なかった（グラフ3）。

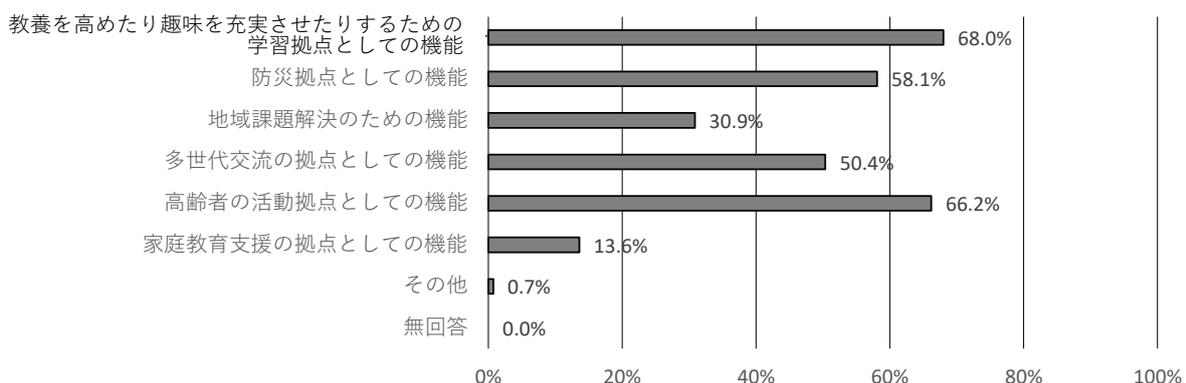
館の運営上の課題としては（グラフ4）、半数以上の館が共通して指摘した項目はなかったが、1位は「施設や設備の老朽化」、2位は「事業に対する住民ニーズや地域課題の把握が不十分」だった。この2項目については、前回調査よりもポイントが微増した。

また、住民対象の講座を実施する際の課題としては（グラフ5）、約半数の館が「参加者が集まらない」と答えた。その他の項目については1～2割の館が挙げるにとどまったが、「住民の学習ニーズに合ったプログラムが不十分」「地域や社会の課題等に対応したプログラムが不十分」「専門スタッフが不足」「講師や指導者の情報が不足」については、前回調査からポイントが微増している。

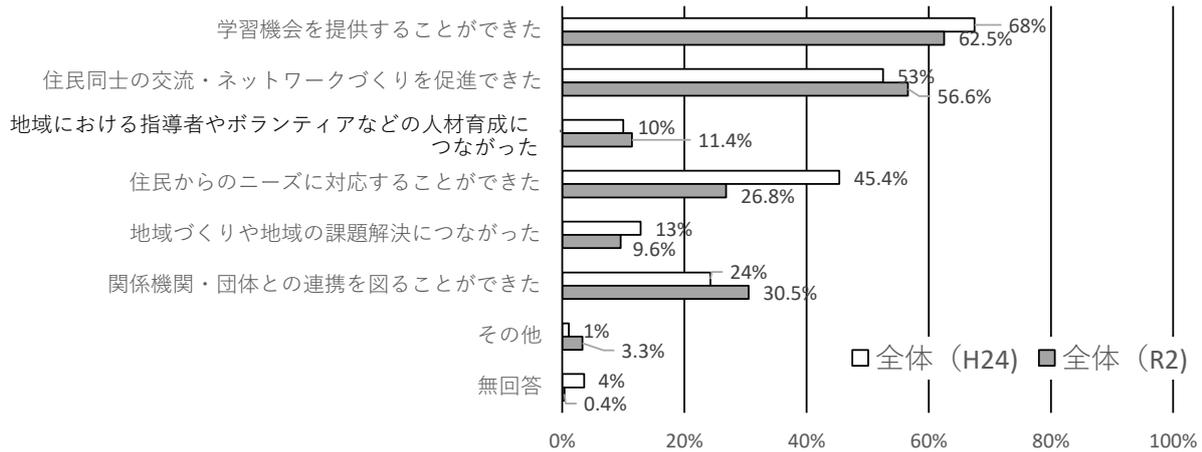
〔グラフ1〕 問 貴公民館の運営にあたり、重点的に取り組んでいることはどのようなことですか。（3つまで回答可）



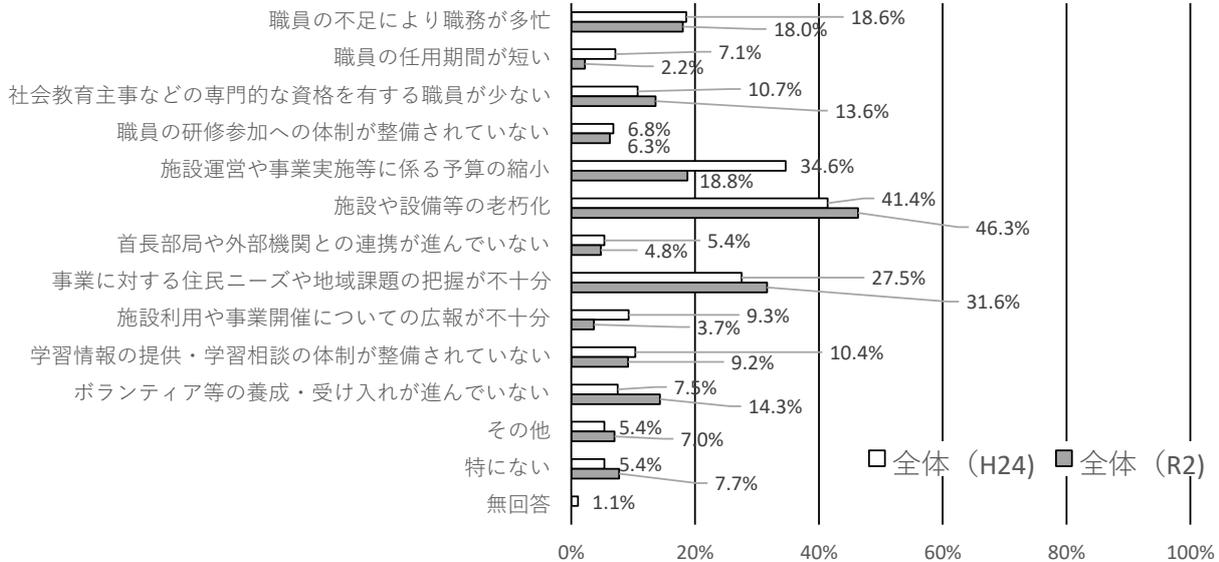
〔グラフ2〕 問 地域住民は貴公民館に何を期待していると思いますか。（複数回答可）



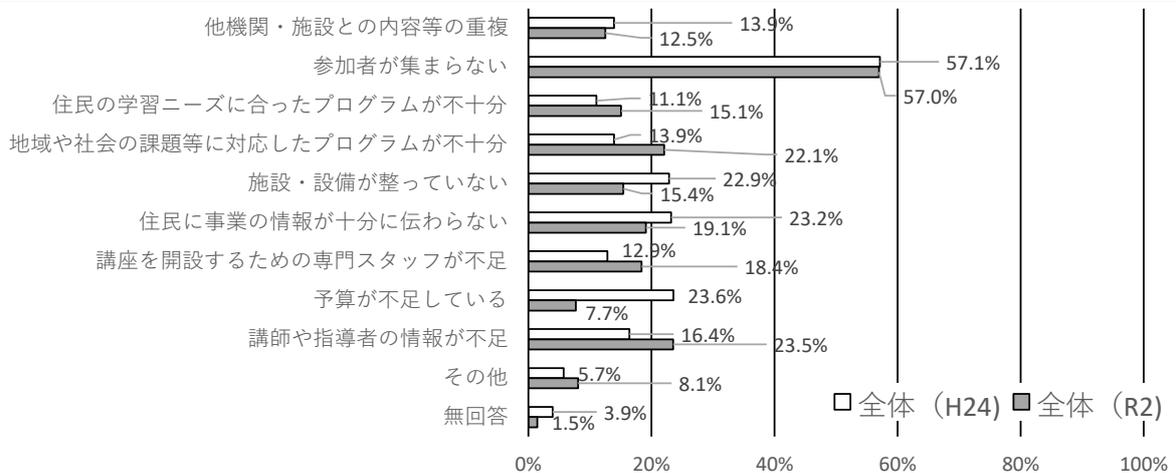
〔グラフ3〕 問 貴公民館では住民を対象とした講座を実施して、主にどのような成果がありましたか。（3つまで回答可）



〔グラフ4〕 問 貴公民館では、館の運営に関して、どのようなことが課題となっていますか。（3つまで回答可）



〔グラフ5〕 問 貴公民館では住民を対象とした講座を実施する際には、どのような課題がありますか。（3つまで回答可）



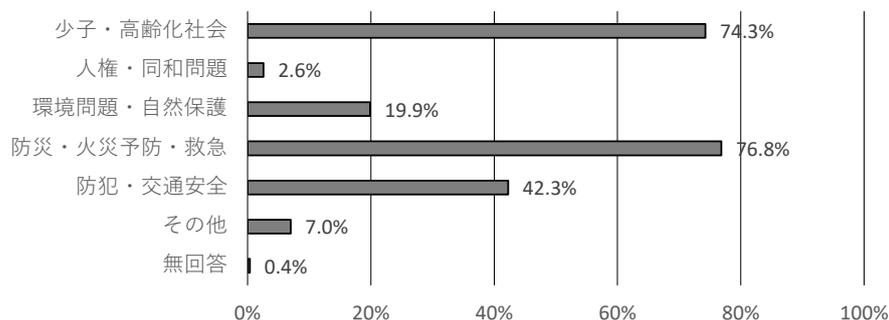
## (2) 地域課題の解決に関する講座事業について

平成30年12月21日の中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」では、公民館に求められる役割として「住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習を推進する役割」や「学習の成果を地域課題の解決のための実際の活動につなげていく役割」などが挙げられており、地域課題の解決につながる活動が公民館事業の一つとして重視されている。

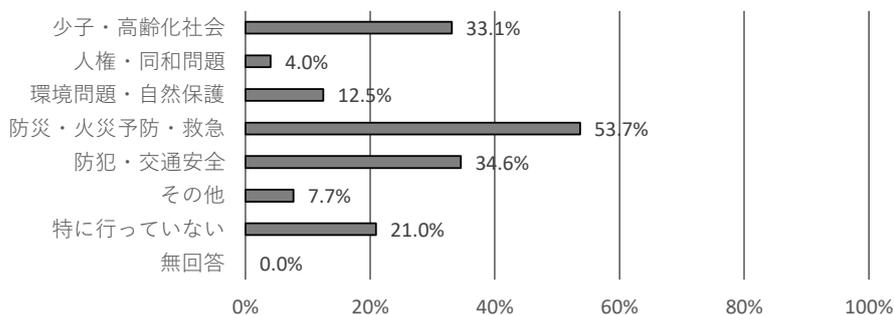
(1) で触れたように、本県では「地域課題の解決」という視点を意識している館は多くない。改めて「地域課題の解決や改善のために必要なテーマ」を問うと(グラフ6)、7割を超える館が①防災・火災予防・救急(76.8%)、②少子・高齢化社会(74.3%)と回答した。しかし、「講座の実施状況」になると(グラフ7)、①防災・火災予防・救急は53.7%、②少子・高齢化社会は33.1%にまで減少する。問われれば地域課題として防災や少子高齢化が思い浮かぶが、特に少子高齢化については、講座の実施にまでいたっていないという状況が見て取れる。また、「人権・同和問題」と「環境問題・自然保護」については必要感、実施率ともに低い。

なお、地域課題解決の推進に向けての課題については(グラフ8)、「高齢化が進み、年代層が固定化していること」を挙げた館が7割を超えている。

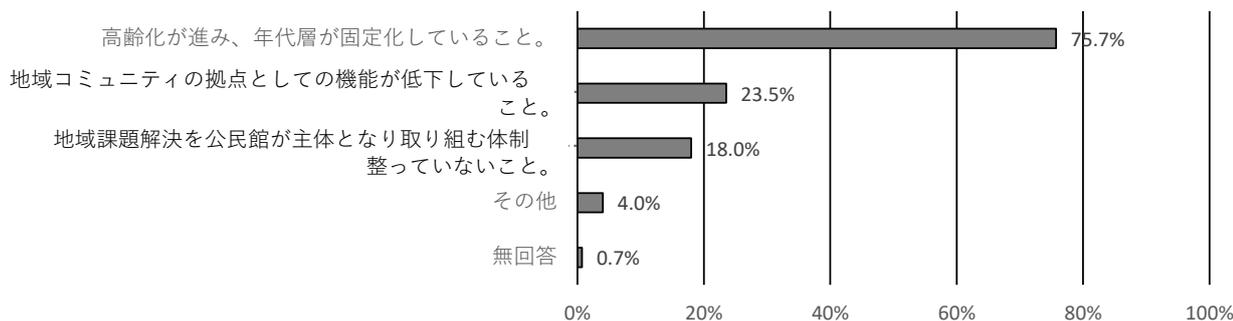
〔グラフ6〕 問 地域課題の解決や改善のために、あなたの地域にとって必要と思う講座は、どのようなテーマの講座ですか。(複数回答可)



〔グラフ7〕 問 貴公民館では、地域課題の解決や改善のために、どのようなテーマの講座を実施していますか。(複数回答可)



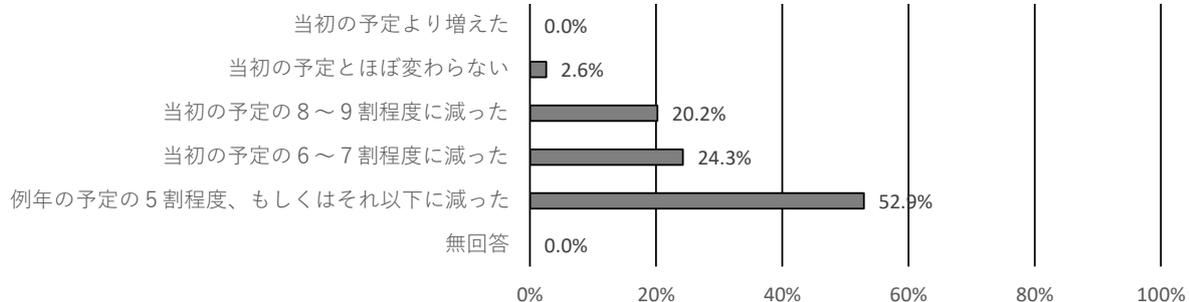
〔グラフ8〕 問 貴公民館では、地域課題解決の推進に向けて、どのような課題がありますか。



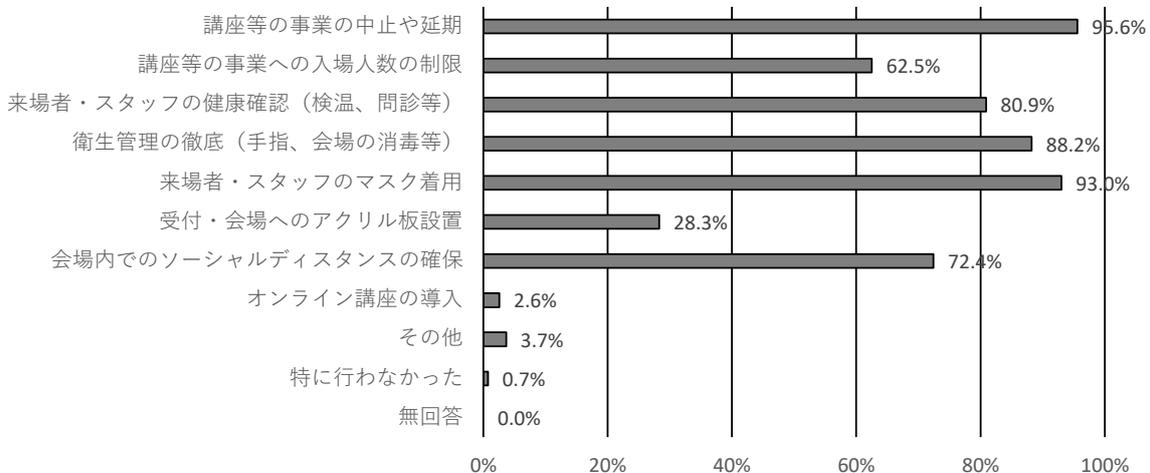
### (3) 新型コロナウイルスの感染症拡大の影響について

県内公民館が、新型コロナウイルス感染症の拡大という事態から受けた影響を調査した。調査時の9月末から10月の時点で、殆どの公民館が事業数が減少したと回答し、当初予定の半数以下に減ったとする館は5割を超えた(グラフ9)。感染拡大防止策としては(グラフ10)、事業の中止・延期、健康確認、衛生管理の徹底、マスクの着用などは8割を超える館が行っているが、オンライン講座を導入した館はわずか2.6%にとどまった。

〔グラフ9〕 問 貴公民館では、新型コロナ感染拡大の影響で、実施した講座等の事業数は当初の予定から変わりましたか。



〔グラフ10〕 問 貴公民館では、新型コロナ感染拡大防止に向けてどのような対策を行いましたか。(複数回答可)

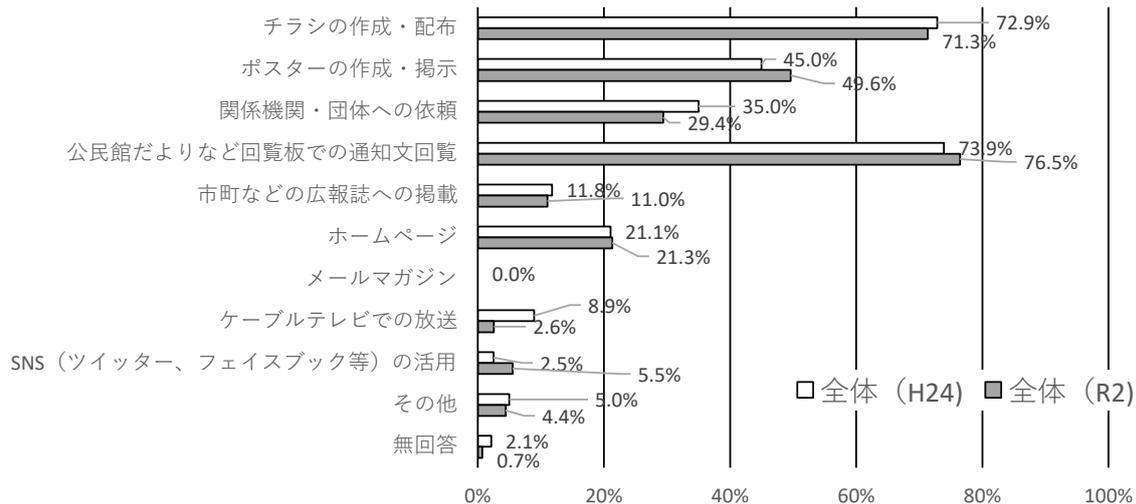


### (4) 事業のICT化について

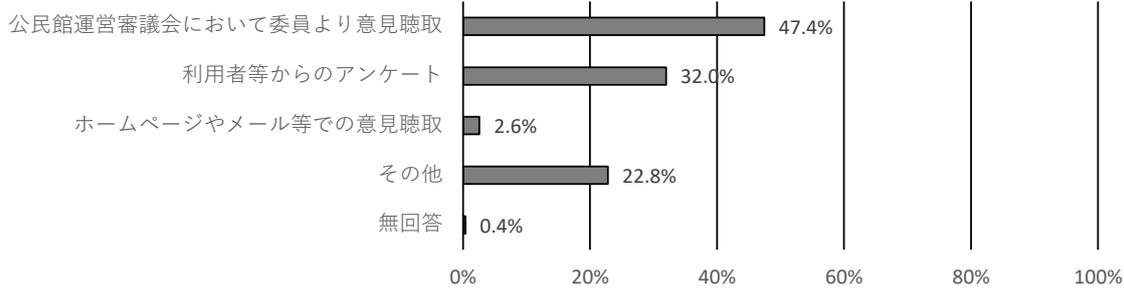
情報提供の方法については(グラフ11)、上位は①回覧板 ②チラシの配付 ③ポスター掲示で、ホームページやメールマガジン、SNSの活用が少ないという傾向は前回調査と同様である。また、地域住民のニーズの把握方法でも(グラフ12)、ホームページやメール等の利用は殆ど行われていない。前述のオンライン講座の導入状況と低さと合わせて考えると、事業のICT化の遅れが顕著である。

このレポートには収録していないが「新型コロナ感染拡大という状況を受けての今後の事業内容や運営方法の変更」や「県・市・町への要望」を尋ねた設問への回答の中には、オンライン講座の導入やインターネット環境の充実を挙げた館が少なからずあった。それに付随して、そのための予算、知識・技術を習得するための研修会の実施などの要望も見られた。また、講座のオンライン化を推進するには、主催者側だけでなく受け手側にも機器の設置やインターネット環境の整備、操作技術の習熟が必要であり、そのハードルの高さを指摘する意見もあった。高齢者を対象とすることが多いという公民館の特徴から考えると、従来からのアナログ的な手法は有効であるが、社会の急速なICT化の流れに応じた措置を講ずる必要があるのではないだろうか。

〔グラフ11〕 問 貴公民館では住民を対象とした講座について、どのように情報の提供を行っていますか。（複数回答可）



〔グラフ12〕 問 貴公民館では、地域住民の学習ニーズをどのように把握していますか。



### 3 おわりに

『報告書』の「IV公民館における事業・講座の運営等に関する実態調査に係る考察」の中で、金沢大学名誉教授・浅野秀重氏は、「公民館には、学習と活動の拠点としてのみならず、住民主体の地域づくり、持続可能な共生社会の構築に向けた取組の拠点としての役割が求められること、さらに我々一人一人が社会を担う当事者、つまり、国家・社会の形成者としての自覚を高めるとともに、世代を超えた学びを通じて心を開き、つながりを深め、地域の課題に向き合いつつ地域独自の強みや特色も生かした取組を進めることが、活力ある地域社会の共創につながる」と述べている。

今回、県内272公民館から寄せられた回答をデータ化したのがこのレポートであり『報告書』である。このデータをもとに、たとえば「この項目の数値は私の実感とかけ離れているのはなぜだろう」とか「参加者が集まらない原因の解決法として、他機関との連携やニーズの把握の仕方にヒントがあるのではないか」「環境問題を扱う講座をやってみようか」などと様々に考えを巡らせるとき、初めて、このデータは意味をもつものになる。浅野氏が指摘するように、これからの地域社会づくりに向けて公民館には大きな期待が寄せられている。公民館活動が、より一層活力あるものとなるための一助として、本レポートや『報告書』をご活用いただければ幸いです。

最後に、改めて今回の調査にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

令和 2 年度  
事業報告書

---

令和 3 年 5 月 2 0 日 発行

編集・発行 石川県立生涯学習センター

〒920-0935

金沢市石引 4 丁目 1 7 番 1 号

石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用